

地震計内蔵 緊急地震速報受信機

HomeSeismo HS302P

ベーシックプラン用

A2 co,ltd.

- 本書の記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の記載内容は将来予告なく変更されることがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成致しておりますが、記載漏れや不審な点がありましたらご一報くださいますようお願い致します。
- HomeSeismo は「外国為替および外国貿易管理法」に基づいて規制される戦略物資(または役務)には該当しません。
- Windows および Windows 10 は米国 Microsoft 社の商標です。
- Mozilla Firefox は米国 Mozilla Foundation 社の商標です。
- FLET'S および フレッツ の各サービスは NTT 東日本および NTT 西日本の商標です。
- HomeSeismo のロゴマークは株式会社エイツーの登録商標です。

安全上のご注意



ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全にお使いいただくための注意事項が記載されています。

お客様または第三者が被った下記のすべての損害について、当社及び販売会社は、一切その責任を負いませんので、予めご承知おきください。




- 本製品の使用・使用誤りによって生じた、本製品に起因するあらゆる故障・誤動作、事故・人身・経済損害等
- 本製品の使用中に停電等の外部要因によって生じた、事故・人身・経済損害等

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。当社は本製品に関し、海外の保守サービス及び、技術サポート等を行っていません。



使用している表示と絵記号の意味

 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分しております。

 発火注意	特定の条件において、発煙または発火の可能性があることを示します。	 感電注意	特定の条件において、感電の可能性のあることを示します。
 けが注意	特定の条件において、怪我を負う可能性があることを示します。		










お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分しております。

 禁止	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 強制指示	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 **警告** 火災・感電・けがを防ぐために

 **感電注意**

 **発火注意**

 禁止	電源コードやACアダプタを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束ねたりしないでください。破損し、火災、感電の原因となります。
 禁止	コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。また、HS301 の場合はAC100V～240V以外、HS302Pの場合はAC100V(50/60Hz)以外での使用はしないでください。異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。
 禁止	本製品(付属品含む)の分解や改造、修理は行わないでください。火災や感電の原因となります。また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。
 禁止	本製品(付属品含む)に濡れた手で触れないでください。電源が入っているときは感電の恐れがあります。また、電源が入っていても、故障の原因となります。
 強制指示	電源プラグやACアダプタはコンセントに完全に差し込んでください。差込が不完全のまま使用すると、ショートしたり、発熱や発煙、火災の原因となります。抜くときは、必ず電源プラグやACアダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。
 強制指示	ACアダプタを使用する場合は必ず付属品をお使いください。また、本製品に付属のACアダプタがある場合、他の製品には使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
 強制指示	次の場合は使用を中止してください。 <input type="checkbox"/> 液体や異物などが内部に入ってしまったとき <input type="checkbox"/> 煙、異臭、異音が出たとき
 強制指示	アース線を接続してご使用ください。アース線を接続しないと感電や動作不良の原因となります。
 強制指示	取り付け取り外しの際は、必ず電源を抜いてください。感電や故障、誤報の原因となります。また、起動後に取り付け方向を変えると、内蔵地震計が正しく動作しません。



注意



落雷注意



禁止

雷が鳴ったら本製品や電源コード、接続されているケーブル類には触れず、他機器の取り付け/取り外し等も行わないでください。落雷による感電の原因となります。



感電注意



発火注意



禁止

本製品(付属品含む)は精密機器のため、次のような場所で設置、保管、使用しないでください。

- 湿気や湯気の多いところや漏水のあるところ
- 急激な温度変化のあるところ(結露するようなところ)
- 油煙、ほこりの多いところ
- 火気の周辺又は熱気のこもるところ
- じゅうたん等の保温性、保湿性の高いところ
- 風通しの悪いところ
- 漏電のあるところ
- 強い磁界が発生するところ
- 静電気が発生するところ
- 直射日光があたる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 水平でない場所や振動の激しい場所
- 腐食ガスが発生する場所



禁止

他の機器と密着させたり、本製品の上に物を置かないでください。故障の原因となります。



禁止

強い衝撃を与えないでください。
本製品は精密機器のため、落したり強い衝撃を与えてしまうと、故障の原因となります。




強制指示


本製品の前後左右、および上部には十分なスペースを確保してください。
製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きる場合があります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙、火災の原因となることがあります。







強制指示

本製品(付属品含む)のほこりなどは定期的に取り除いてください。
湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。電源を切ってから、乾いた布で拭いてください。

 けが注意

	<p>お子様の手の届く場所へ設置、保管しないでください。 本製品(付属品含む)の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を設置してください。 小さなお子様をご利用になる場合は、製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。</p>
---	--

その他

 禁止	<p>本製品は地震計内蔵のため、次のような場所で設置、使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> [MONI]が橙・赤になるところ<input type="checkbox"/> 冷蔵庫・空調設備・洗濯機・プリンター・電子レンジの近く<input type="checkbox"/> 音響機器(スピーカ等)の近く<input type="checkbox"/> スピーカは振動しますので、端末の上へスピーカを置かないで下さい。<input type="checkbox"/> テーブル、棚やラックの上、固定されていない棚など不安定な場所<input type="checkbox"/> テレビやラジオの近く<input type="checkbox"/> パーテーションなどの固定されていない物<input type="checkbox"/> 柱や筋交いが無い壁<input type="checkbox"/> 周囲に振動の発生源がある場所(発電機や工作機械の間近)
 禁止	<p>シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品(付属品含む)を拭かないでください。汚れた場合は乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい時はきれいな布に中性洗剤を含ませ、かたく絞ってから拭きとってください。 ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対に拭かないでください。</p>
 強制指示	<p>静電気を除去してから触れてください。 静電気による破損を防ぐため、本製品(付属品含む)に触れる前にドアノブやアルミサッシ等、身近な金属に手を触れて身体の静電気を取り除くようにしてください。人体からの静電気は、本製品(付属品含む)を破損またはデータの消失、破損させる恐れがあります。</p>
 強制指示	<p>本製品(付属品含む)に接続する機器の取扱いは、各メーカーが定める手順(取扱説明書など)に従ってください。</p>

目次

安全上のご注意	2
目次	6
はじめに	8
第 1 章 ご使用前の準備	10
1.1 付属品の確認.....	11
1.1.1 付属品の確認.....	11
1.1.2 SW(緑のスイッチ)について (動作確認、再起動、メンテナンスモード).....	11
1.2 各部の名称と働き.....	12
1.2.1 HS302P 本体(フロント).....	12
1.2.2 HS302P 本体(下部カバー内).....	13
1.3 LED(ランプの動作)について.....	14
第 2 章 HomeSeismo の動作について	16
2.1 HomeSeismo の動作について.....	17
2.1.1 緊急地震速報受信(通常).....	17
2.1.2 緊急地震速報受信(複数の地震発生時).....	17
2.1.3 緊急地震速報と内蔵地震計での P 波検知.....	17
2.1.4 試験放送 及び 気象庁 訓練報.....	17

第 3 章 設定から新規ユーザ登録まで	18
3.1 HomeSeismo の設定をする	19
3.1.1 HomeSeismo をメンテナンスモードで起動する	19
3.1.2 LAN ケーブルでパソコンと HomeSeismo を接続する	20
3.1.3 パソコンのネットワーク設定を行う	21
3.1.4 HomeSeismo のネットワーク設定を行う	26
3.2 設置・接続をする	30
3.2.1 設置する	30
3.2.2 ネットワークに接続する	32
3.2.3 出力機器を接続する	33
3.3 新規ユーザ登録(設置場所の登録)を行う	34
3.3.1 新規ユーザ登録(設置場所の登録)を行う	34
3.3.2 津波・噴火情報の受信設定を行う	34
3.3.3 試験放送を行う	35
3.3.4 冗長化確認を行う(IPv4 接続端末のみ)	35
第 4 章 HomeSeismo 端末の設定変更	36
4.1 HomeSeismo 端末設定画面へアクセスする	37
4.1.1 HomeSeismo ユーザページからアクセスする方法	37
4.1.2 Web ブラウザの URL 欄に端末の IP アドレスを入力して アクセスする方法	39
4.1.3 パソコンと端末を直接接続してアクセスする方法 (メンテナンスモードでアクセス)	40
4.2 HomeSeismo の端末設定画面について	44
4.2.1 TOP	44
4.2.2 基本設定	45
4.2.3 動作確認	55
4.2.4 動作履歴	57
4.2.5 連動設定	61
4.2.6 再起動	64
4.2.7 ファイル更新	65
4.2.8 解析情報	65
付 録	66
付録 1 HS302P 接点仕様	67
付録 2 HS302P 製品仕様	70
付録 3 工場出荷時設定内容	71
付録 4 端末設定メモ	72

はじめに

本書の使い方

この度は、HomeSeismo HS302P(以下 HS302P)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、緊急地震速報を受信する装置です。

本書では、HS302P をお使いいただく上で必要となる基本事項の説明を記載しております。ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、HS302P を安全に使用し、かつ本来の性能を十分に発揮するために、正しくお取り扱い下さい。

また、お読みになった後は、本書を大切に保管し、ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお読み下さい。

登録などで解らなくなった時には

ご使用中に故障と思われる現象が生じた場合は、まず本書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。

現象が改善されない場合は、お買い上げいただきました販売店・代理店等へお問い合わせいただくか、HomeSeismo 用 web サイトをご覧ください。

詳細につきましては、弊社 WEB サイトをご覧ください。

URL <https://www.a-2.co.jp/homeseismo/>

本書の表記について



注意

操作中に気をつけて頂きたい内容です。必ずお読みください。



メモ

この表示は、HomeSeismoを十分にご活用いただくための情報を表しています。

※本書では、「ネットワーク」を「IP(インターネットプロトコル)ネットワーク」という意味で使用します。

注意点

○ 緊急地震速報の特性と注意点

- ・緊急地震速報を適切に活用するためには、技術的な特性や限界を十分に理解する必要があります。
- ・緊急地震速報の発報から地震波が到達するまでの時間は、極めて短い時間の場合があります。
- ・震源に近い場所(いわゆる直下型地震)では地震波到達までに緊急地震速報が間に合わないことがあります。
- ・予測された震度、到達時間に誤差を伴う場合があります。
- ・観測点の落雷、事故、機器の故障等により誤報を発報する可能性があります。
- ・緊急地震速報は地震による被害の軽減を目的とするものであり、利用者の財産の保全や生命を保証するものではありません。
- ・本製品の設置に伴い、地震を想定した避難、防災訓練を定期的実施して下さい。
- ・弊社より提供される機器について、機器の故障、プログラムの不具合等により緊急地震速報の遅延または未達の可能性を含んでおります。
- ・本製品の使用によって発生した、いかなる損害およびそのほかの費用については一切の補償はいたしません。

○ HomeSeismo 運用時の注意点

- ・HomeSeismo は以下の条件の場合は発報しない仕様になっておりますのでご注意ください。
 - 緊急地震速報(予報:震源由来)で震央までの距離が 2000km より大きい場合
 - 緊急地震速報(予報:震源由来)で震源情報が含まれていない場合
 - 緊急地震速報(予報:PLUM)で、リアルタイム震度観測点が 1 点だった場合その他の注意点については、「安全上のご注意」(2 ページ)をご参照下さい。
- ・P 波検知については生活振動ノイズによる誤動作が起きる可能性があります。技術的な限界をご理解の上ご利用をお願いします。

❗ 注意 設置場所について

設置場所については、「3.2.1 設置する」(30 ページ)をご確認ください。

第1章 ご使用前の準備

HomeSeismo の設置前に知っておいていただきたい事項を説明します。

- 1.1 付属品の確認
 - 1.1.1 付属品の確認
 - 1.1.2 SW(緑のスイッチ)について
(動作確認、再起動、メンテナンスモード)

- 1.2 各部の名称と働き
 - 1.2.1 HS302P 本体(フロント)
 - 1.2.2 HS302P 本体(リア)

- 1.3 LED(ランプ)の動作について

1.1 付属品の確認

1.1.1 付属品の確認

本製品開梱後、次の付属品がすべて揃っているかご確認下さい。万一付属品が不足しているときは、お買い上げの販売店・代理店までご連絡下さい。

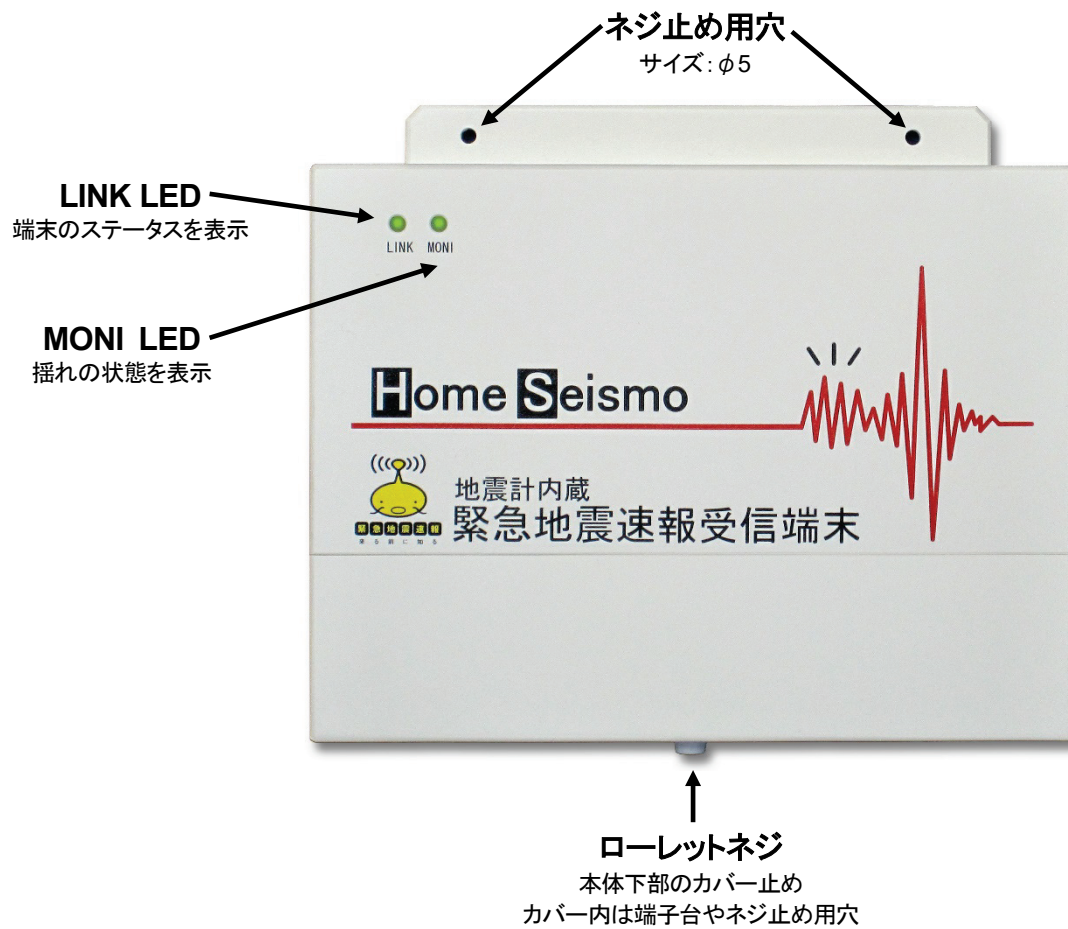
No	品名	数量	備考
1	HomeSeismo HS302P本体	1	
2	LANケーブル(10BASE-T)	1	3m(CAT5、ストレート)
3	取扱説明書(本書)	1	
4	保証書(本書)	1	
5	シリアルシール	1	保証書用シール
6	ナベタッピングネジ	3	ネジ止め用(サイズ:M4×16mm)
7	インシュロック	1	押し込みタイプ

1.1.2 SW (緑のスイッチ) について (動作確認、再起動、メンテナンスモード)

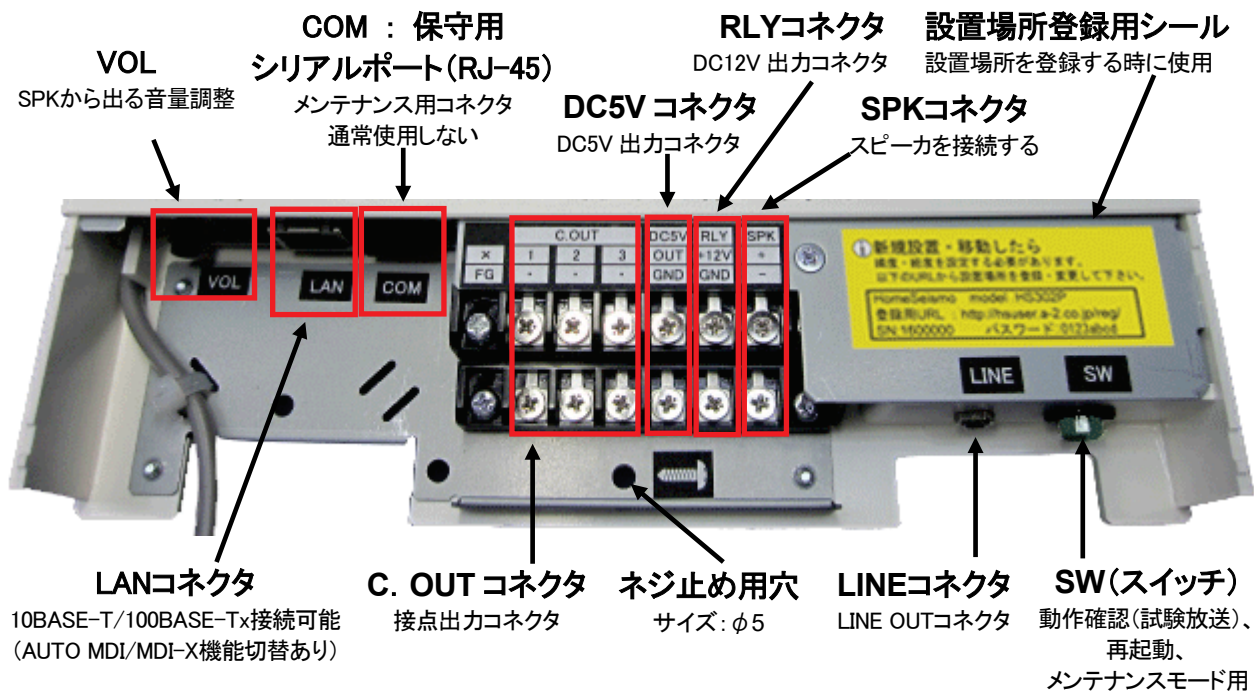
- **動作確認(試験放送)**
SW を 1~2 秒押すと、音声出力と接点出力の動作確認が行えます。
端末設定画面の動作確認と同じ動作確認です。
詳しくは「4.2.3 動作確認」(55 ページ)をご覧ください。
- **再起動**
SW を LINK・MONI LED が赤の速い点滅になるまで(約 5 秒)押し続けると、端末が再起動します。
起動するまで電源を切るなどの操作は行わないでください。
- **メンテナンスモード**
SW を押しながら端末を起動させると(LINK・MONI LED が橙の速い点滅になるまで)、メンテナンスモードになります。
解除する場合は端末を再起動させてください。
詳しくは「4.1.3 パソコンと端末を直接接続してアクセスする方法(メンテナンスモードでアクセス)」(40 ページ)をご覧ください。

1.2 各部の名称と働き

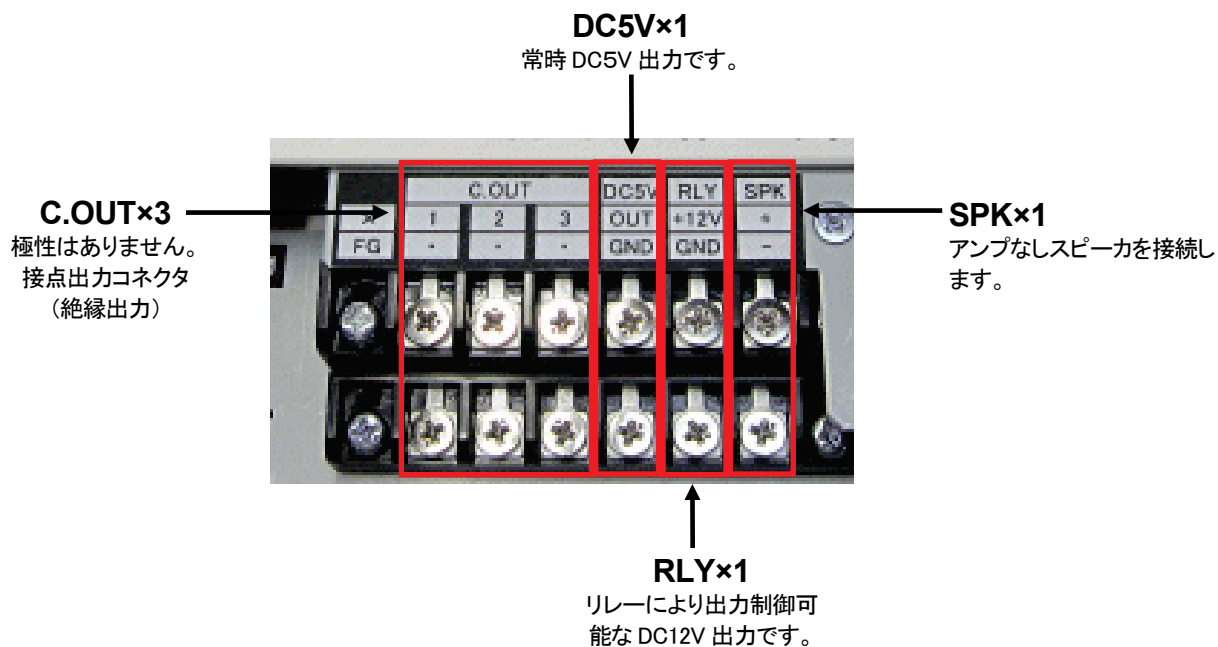
1.2.1 HS302P 本体（フロント）



1.2.2 HS302P 本体（下部カバー内）



【接点コネクタの説明】



1.3 LED（ランプの動作）について

LEDの動作について説明します。

HomeSeismoの状態	LEDの動作	
	MONI	LINK
電源OFF	消灯	消灯
電源投入時	起動が完了するまで両方のLEDの色が変化します。しばらくしてからLEDが緑色に点灯します	
待機状態	揺れのレベル<*メモ>	緑
緊急地震速報 受信		緑
試験放送中		緑
NETWORKケーブル未接続		赤の速い点滅
ローカルIPアドレス未割り当て		赤の遅い点滅
センターとの接続が未完了		橙の遅い点滅
新規ユーザ登録(設置場所の登録)を行っていない		緑の点灯だが、一時的に橙の遅い点滅になる
端末とサーバ間のリンク状態が切れている時		緑の遅い点滅
ルータがセンターとの切断/接続を繰り返す設定になっている時		緑点灯/緑の遅い点滅を繰り返す
メンテナンスモード		橙の速い点滅

第2章 HomeSeismo の動作について

- HomeSeismo の動作についてのご案内です。

- | | |
|-------|----------------------|
| 2.1 | HomeSeismo の動作について |
| 2.1.1 | 緊急地震速報受信(通常) |
| 2.1.2 | 緊急地震速報受信(複数の地震発生時) |
| 2.1.3 | 緊急地震速報と内蔵地震計での P 波検知 |
| 2.1.4 | 試験放送 及び 気象庁 訓練報 |

2.1 HomeSeismo の動作について

2.1.1 緊急地震速報受信（通常）

緊急地震速報は一つの地震に対して複数回送信され、情報が更新されていきます。情報が更新されると、ホームサイスマでお知らせする震度・猶予時間も更新されます。 ※小さくなった予測震度を除く。

設定した発報震度の閾値を越え発報が開始された後、震度に変更され閾値を下回っても、発報震度を変更したり、発報を中断したりしません。

また、猶予時間が 0 秒以下であっても、発報条件を満たしていれば発報を行います。

2.1.2 緊急地震速報受信（複数の地震発生時）

複数の地震の緊急地震速報を受信した場合、「最も大きく到達する地震の予測震度」と「最も早く到達する地震の猶予時間」をお伝えします。

これは、1 つの地震の到達後に、もっと大きな地震が到達する場合、大きな地震に合わせた避難行動を取っている必要があると考えているためです。

一つの地震到達後は、「続いて地震が到達します」というアナウンスが流れ、後から到達する地震の通知を再開します。

2.1.3 緊急地震速報と内蔵地震計での P 波検知

内蔵地震計機能を有効としている場合、緊急地震速報と内蔵地震計での P 波検知の、より早く検知・受信した方を採用します。

緊急地震速報の方を早く受信した場合（主に震源地が遠い場合）は、緊急地震速報のガイダンスが流れ、内蔵地震計での P 波検知は無視されます。

内蔵地震計の P 波検知が早かった場合（主に直下地震）は、P 波検知のガイダンスが流れ、緊急地震速報を受信するとガイダンスは緊急地震速報へ切り替わります。

2.1.4 試験放送 及び 気象庁 訓練報

試験放送 及び 気象庁 訓練報は、通常ガイダンスの前に「ただ今から緊急地震速報の試験放送を行います」、最後に「これで試験放送を終わります」が流れます。

試験放送 及び 気象庁 訓練報中に本物の緊急地震速報が配信された場合、「試験放送解除、緊急地震速報」というアナウンスが流れ、本物の緊急地震速報を発報します。

第3章 設定から新規ユーザ登録まで

HomeSeismo の設定から新規ユーザ登録までのご案内です。

<https://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/flow1.html> でもご案内しております。

HomeSeismo を使用されるネットワーク環境によって流れが異なります。

HomeSeismo のネットワーク設定は下記 3 項目となります。

- IP アドレスを自動的に取得する(DHCP)
- IP アドレス指定
- (NTTフレッツ網)IPv6 アドレスを自動的に取得する(RA)

※出荷時の設定は「IP アドレスを自動的に取得する(DHCP)」です。

DHCP でご使用の場合は、「3.2 設置・接続をする」にお進みください。

- | | |
|-------|---------------------------------|
| 3.1 | HomeSeismo の設定をする |
| 3.1.1 | HomeSeismo をメンテナンスモードで起動する |
| 3.1.2 | LAN ケーブルでパソコンと HomeSeismo を接続する |
| 3.1.3 | パソコンのネットワーク設定を行う |
| 3.1.4 | HomeSeismo のネットワーク設定を行う |
| 3.2 | 設置・接続をする |
| 3.2.1 | 設置する |
| 3.2.2 | ネットワークに接続する |
| 3.2.3 | 出力機器を接続する |
| 3.3 | 新規ユーザ登録(設置場所の登録)を行う |
| 3.3.1 | 新規ユーザ登録を行う |
| 3.3.2 | 津波・噴火情報の受信設定を行う |
| 3.3.3 | 試験放送を行う |
| 3.3.4 | 冗長化確認を行う(IPv4 接続端末のみ) |

3.1 HomeSeismo の設定をする

出荷時の設定は「IP アドレスを自動的に取得する(DHCP)」です。
DHCP でご使用の場合は、「3.2 設置・接続をする」(30 ページ)にお進みください。

DHCP 以外でご使用の場合は、ネットワークに接続するために、端末をメンテナンスモードにして設定を行います。
メンテナンスモードで設定する場合は、HomeSeismo とパソコンを直接 LAN ケーブルで接続し、パソコンにネットワーク設定を行います。

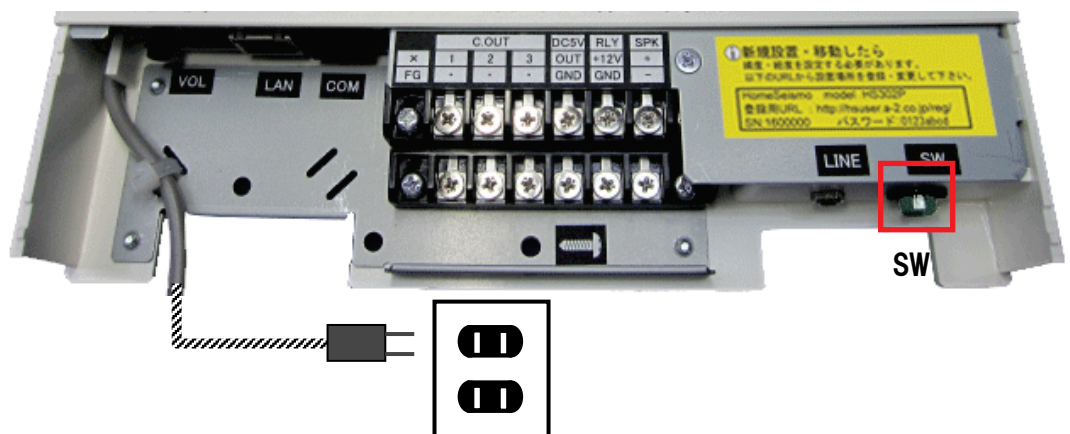
3.1.1 HomeSeismo をメンテナンスモードで起動する

1. 本体下のローレットネジを手で外して、下部のカバーを取ります。



2. 「SW(緑のスイッチ)」を押しながら電源プラグをコンセントに差し込み、端末を起動します。
LINK と MONI の LED が橙の速い点滅になったら、メンテナンスモードで立ち上がっているので、「SW」から手を離してください。

※すでに電源が入っている場合は、「SW」を押し続けると再起動するので、メンテナンスモードで立ち上がるまで「SW」を押し続けてください。



🏠 **メモ** **メンテナンスモードの端末の IP アドレス**

メンテナンスモードでは以下の設定となります。

IP アドレス: 192.168.1.20

サブネットマスク: 255.255.255.0

3.1.2 LAN ケーブルでパソコンと HomeSeismo を接続する

⚠️ **注意** **他のネットワークの LAN ケーブルを抜いて下さい**

すでにパソコンに他のネットワークの LAN ケーブルを接続している場合は、一旦 LAN ケーブルを抜いてください。パソコンのネットワーク接続は、間違えるとネットワーク全体に影響を及ぼすことがあります。

パソコンについては、ユーザ様で各自準備をしてください。

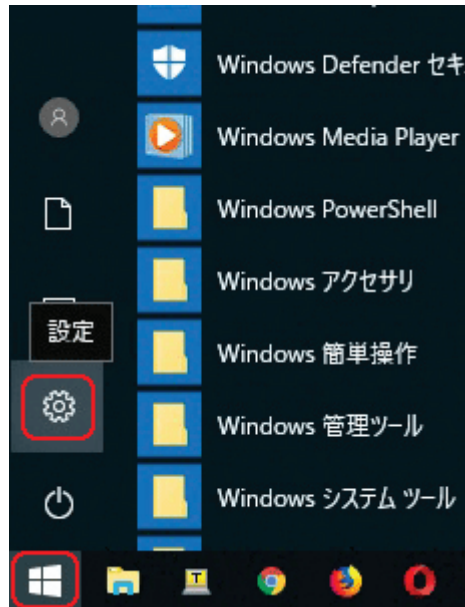
1. パソコンの電源を入れます。
2. パソコンと端末を LAN ケーブルで直接つなぎます。
(LAN ケーブルはクロスである必要はありません)



3.1.3 パソコンのネットワーク設定を行う

端末と接続しているパソコンのネットワーク設定を行います。
設定方法は OS によって異なります。
本書では弊社で動作確認した Windows 10 について載せております。

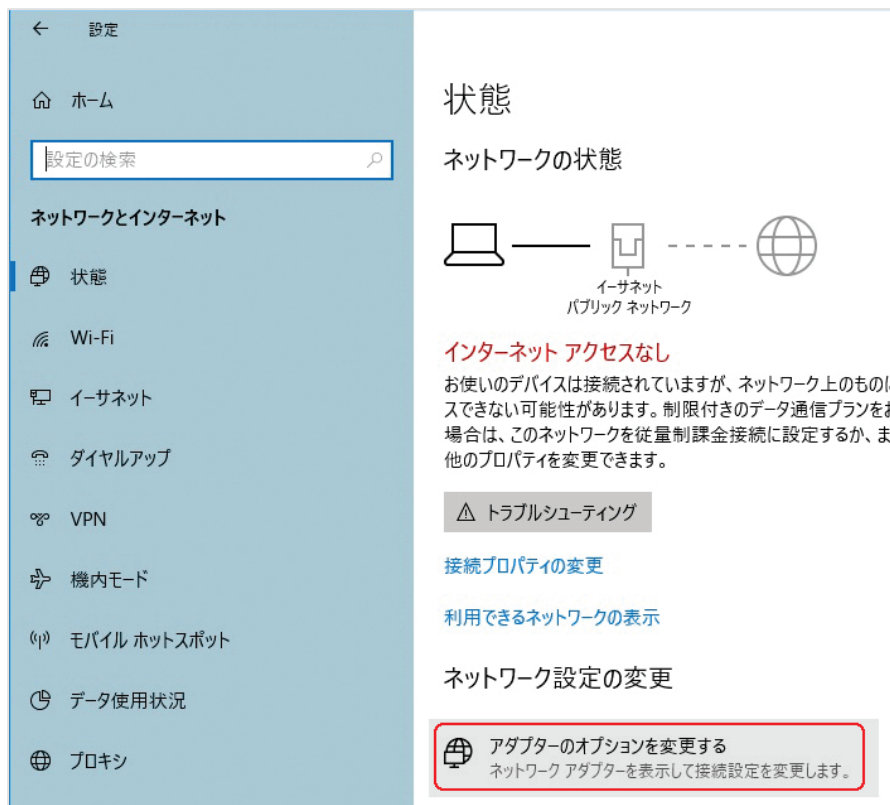
1. 「スタート(窓マーク)」→「設定(歯車マーク)」をクリックしてください。



2. 「Windows の設定」が開くので、「ネットワークとインターネット」をクリックしてください。



3. 「ネットワークとインターネット」の「状態」が開くので、「アダプターのオプションを変更する」をクリックしてください。



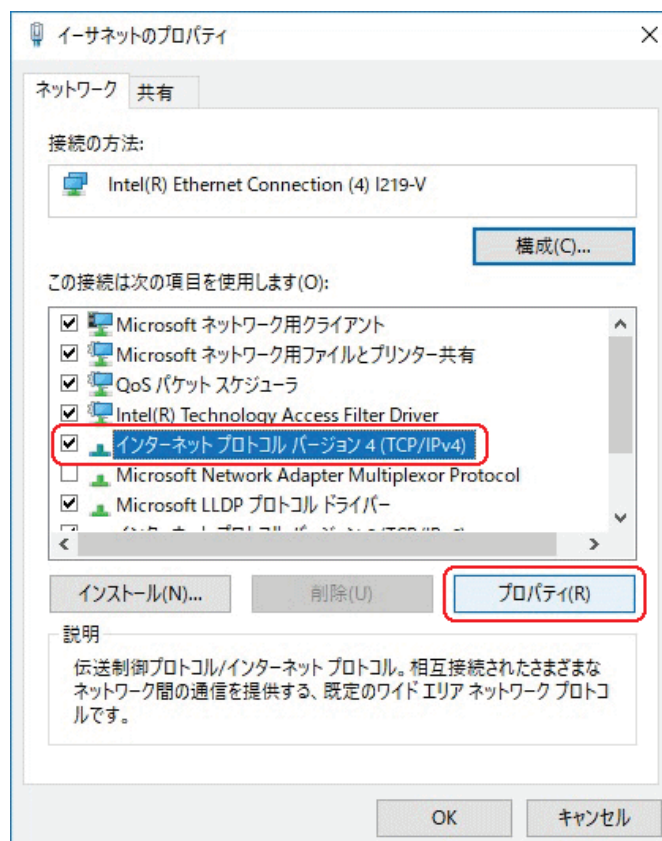
4. 「イーサネット」をダブルクリックしてください。



5. 「イーサネットの状態」ウィンドウが表示されるので、「プロパティ(P)」をクリックしてください。



6. 「イーサネットのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ(R)」をクリックします。

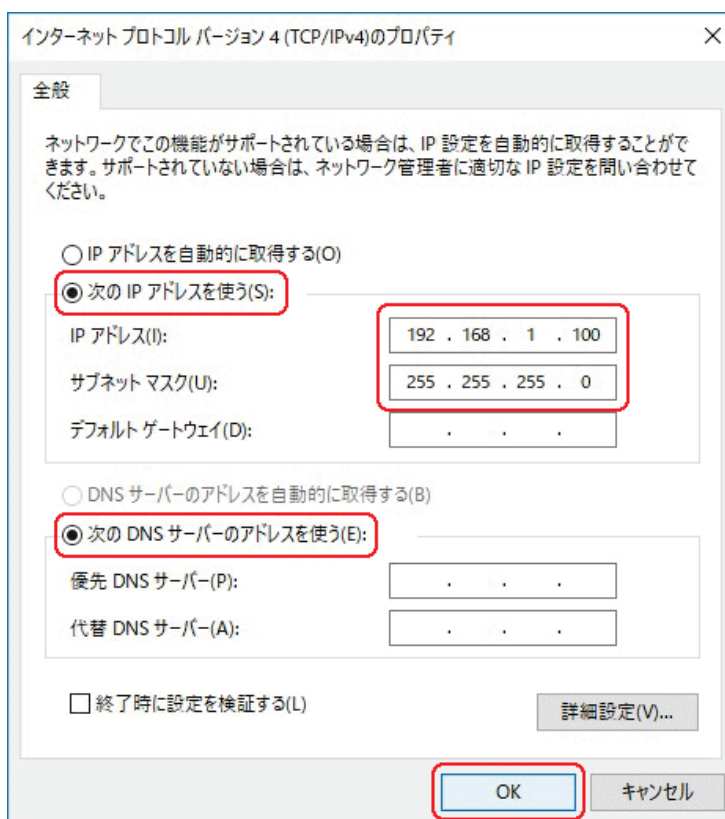


ⓘ 注意 現在のパソコンの設定を控えておいて下さい

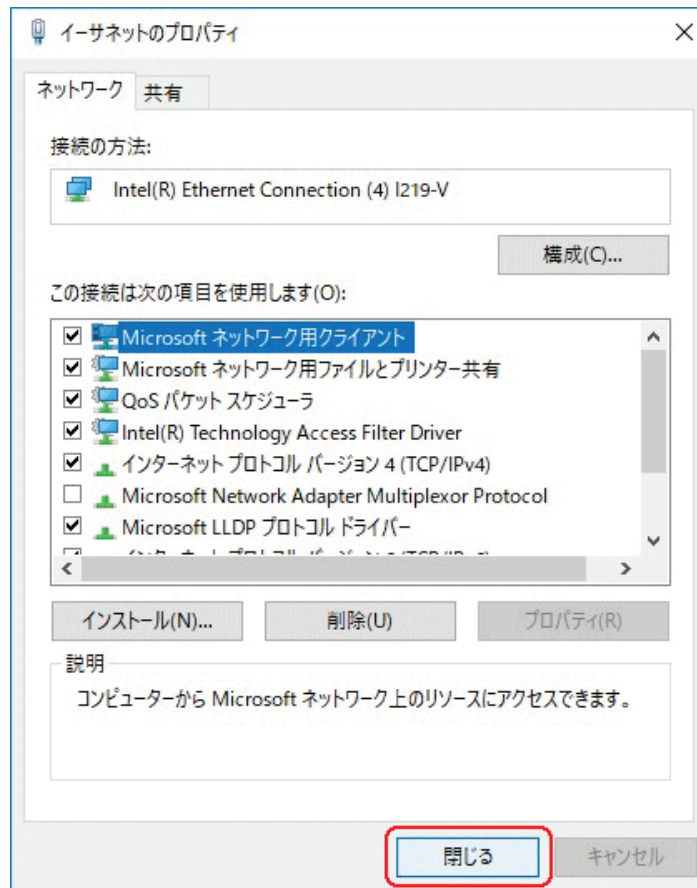
端末の設定完了後は、パソコンを設定前に戻しますので、どのような設定状態だったかメモ等で控えておいて下さい。

7. 「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)のプロパティ」ウィンドウが表示されるので、「次の IP アドレスを使う(S)」と「次の DNS サーバのアドレスを使う(E)」をクリックして以下の値を入力してください。
 デフォルトゲートウェイ、DNS サーバについての値は必要ありません。入力したら「OK」をクリックします。

IP アドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	設定なし
優先 DNS サーバ	設定なし
代替 DNS サーバ	設定なし



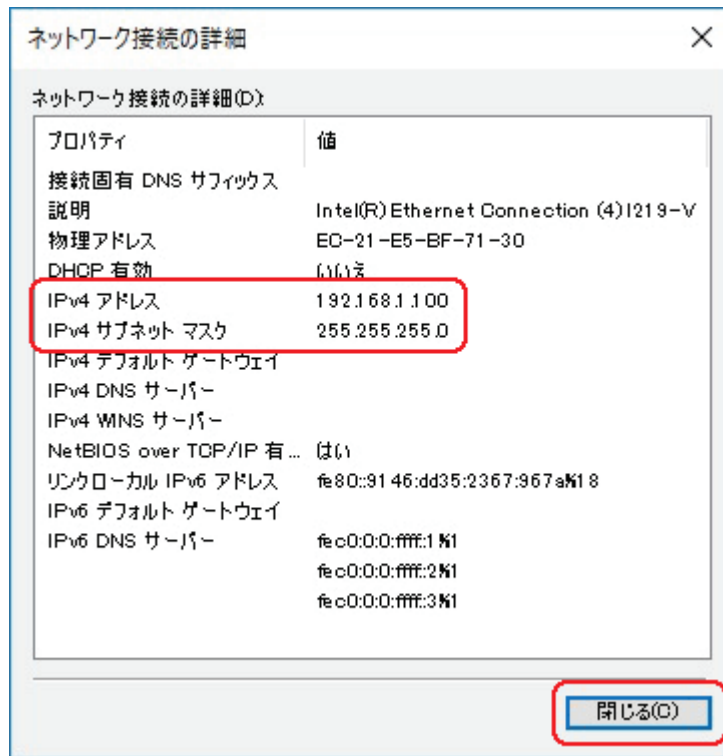
8. 「閉じる」を押して「イーサネットのプロパティ」を閉じます。



9. 【確認】「イーサネットの状態」ウィンドウの「詳細(E)」をクリックします。「イーサネットの状態」ウィンドウを閉じてしまっている場合は、再度「スタート」→「設定」…とアクセスしてってください。



- 「ネットワーク接続の状態」ウィンドウが開くので、IPv4 アドレスが「192.168.1.100」、IPv4 サブネットマスクが「255.255.255.0」になっていることを確認します。
「閉じる」ボタンをクリックします。



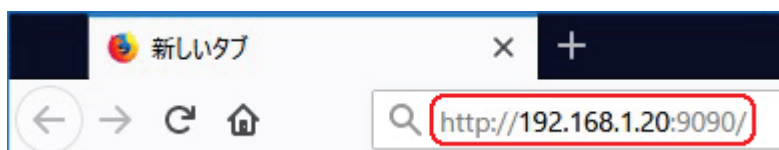
3.1.4 HomeSeismo のネットワーク設定を行う

WEB ブラウザで、端末設定画面へアクセスします。

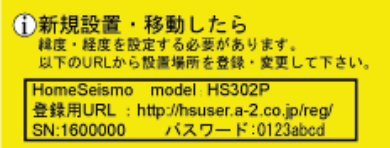
- Mozilla Firefox 等 Web ブラウザを開きます。
※ネットワークと接続されていないので、「サーバーが見つかりません」になります。
- 下記アドレス(半角小文字)をブラウザへ入力し、キーボードの「enter」を押します。

http://192.168.1.20:9090/


※メンテナンスモードのアドレスです。ネットワーク設定を行った後の端末設定画面へのアクセスの場合は、「第 4 章 HomeSeismo 端末の設定変更」をご覧ください。



3. ユーザ名とパスワードの入力を求められますので、以下の通り入力し、「OK」をクリックしてログインしてください。

ユーザ名	admin
パスワード	<p>本体下部カバー内に貼られている黄色いシールに記載されているパスワード 【例】(パスワード:0123abcd) →端末に貼られている黄色いシールイメージ</p> 

ユーザー名とパスワードを入力してください ×

 http://192.168.1.20:9090 がユーザー名とパスワードを要求しています。サイトからのメッセージ: "a2"

ユーザー名:

パスワード:

※パスワードについては、セキュリティの問題上、「●」で表示されます。

4. 「基本設定」をクリックしてください。

HomeSeismo HS302P 【ベーシックプラン】

TOP | 基本設定 | 動作確認 | 動作履歴 | 連動設定 | 再起動 | ファイル更新 | 解析情報

基本設定

動作確認

動作履歴

連動設定

再起動

ファイル更新

解析情報

• 緊急地震速報受信中や試験放送中には操作を行わないでください。

情報表示

ネットワーク情報

IPアドレス	192.168.1.20
MACアドレス	00:10:43:10:00:00
HomeSeismoデータセンター 接続状態	接続中
NTP接続状態	接続中

システム情報

音声ガイダンス	高度利用者向けガイダンス
緊急地震速報チャイム音	NHK+REICチャイム音
料金プラン	ベーシックプラン
シリアル番号	1600000
音声アプリケーション	HS302P_Basic_1.3.1
システムアプリケーション	HS30x 0.4.0 (2018-08-29 16:40:00)
システム	Sun May 31 04:09:29 JST 2015

Copyright(C) 2019 A2 corp. All Rights Reserved.

5. 「基本設定」画面でネットワークの設定と、その他設定したい項目を入力し、登録ボタンをクリックしてください。

ネットワーク設定は下記3項目から一つを選択してください。
設定については使用するネットワークの管理者へ確認してください。

○IPアドレスを自動的に取得する(DHCP)

工場出荷時の設定となります。

○IPアドレス指定

端末に割り振る IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。次回からの端末設定画面アクセスに、ここで設定した IP アドレスが必要となります。本書巻末「付録4 端末設定メモ」へ記入をお願いします。

※10.0.0.0/8 の一部のアドレスはご使用いただけません。ご使用の場合は homesseismo@a-2.co.jp までお問合せください。

○(NTTフレッツ網)IPv6アドレスを自動的に取得する(RA)

NTTフレッツ網を選択してください。

- ・東日本 NGN 光ネクスト・ライト(フレッツ・v6 オプション)
- ・西日本 NGN 光ネクスト・ライト(フレッツ・v6 オプション)

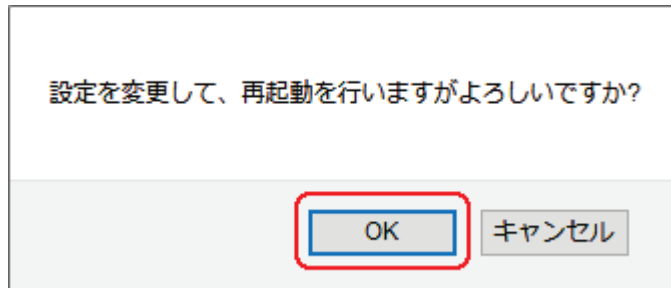
The screenshot shows the 'HomeSeismo HS302P [ベーシックプラン]' settings page. The '基本設定' (Basic Settings) section is highlighted with a red box. The 'ネットワーク' (Network) section is also highlighted with a red box. The '登録' (Register) button is highlighted with a red box.

Annotations:

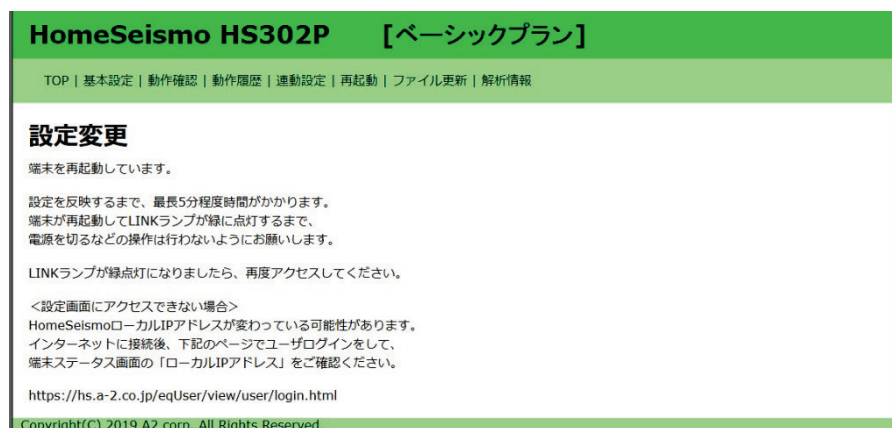
- ネットワークの設定は、右記3項目から1つを選択して下さい。
- 必要に応じてネットワーク以外の設定も行います。項目の詳細については「4.2.2 基本変更」(45ページ)をご覧ください。
- 「登録」ボタンをクリックしてください。端末が再起動します。

Copyright(C) 2019 A2 corp. All Rights Reserved.

- 設定変更の確認ダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。



- 設定変更中の画面が表示されます。
端末が再起動を行い、起動するとLINKランプは赤や橙の遅い点滅になります。
それまでは電源を切るなどの操作は行わないようにお願いします。



- 端末をネットワークに接続します。
パソコンからLANケーブルを外し、外したLANケーブルをHUBまたはルータなどのネットワーク機器に接続してください。
センターとのリンクが確立すると、LINKランプは緑と橙の交互点滅(新規ユーザ登録が未登録)になります。
(LEDの詳細については14ページ)
LINKランプが緑と橙の交互点滅にならない場合は、ネットワーク管理者または購入元までお問い合わせください。
- これで設定は終了です。右上の「×」ボタンで画面を閉じてください。
※再度端末設定画面へアクセスしたい場合は、「第4章 HomeSeismo 端末の設定変更」をご覧ください。
- パソコンのネットワーク設定を戻してください。
また、次の項目である「端末設置」の際にはケーブル類を全て外していただくのと楽に設置できます。
尚、端末設置の際には電源を入れなくてください。
電源を入れたまま端末を動かすと、内蔵地震計が正しく動作しません。
電源を入れたまま設置を行った場合は、端末を再起動してください。

3.2 設置・接続をする

3.2.1 設置する

端末設置の際には電源を入れないでください。

付属のネジを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁です。
HomeSeismo HS302P の本体の重量は約 1.04kg、サイズは 236(W)×198(D)×33(H)mm(突起物含まず)です。

⚠注意 ネジについて

付属のネジでは取付け不可能な壁への設置は、お客様でネジをご用意ください。その際両面テープ式や吸盤式は落下する危険がありますので使用しないでください。

1. 端末を取り付ける場所を決めてください。
内蔵地震計を適切に活用するために、技術的な特性や限界を充分理解の上、以下のような場所へ設置をお願いします。

- ・端末上部にある「MONI」という揺れに反応する LED ランプが緑点灯になるところ
- ・強固な壁
- ・建物の柱

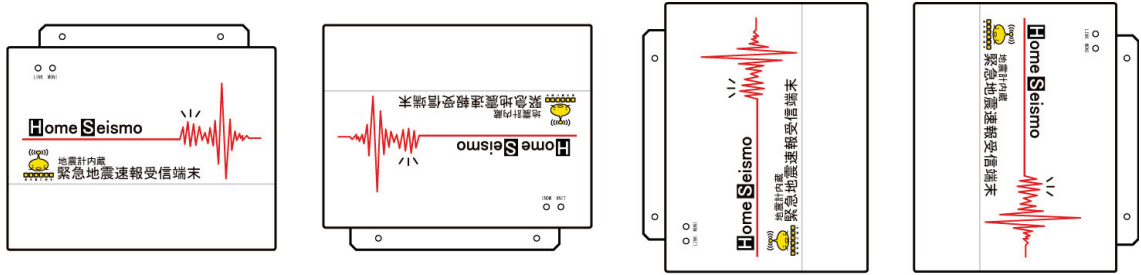
以下のような「振動が多い場所」へは設置しないで下さい。
(振動が多いと、地震計へ影響し感度が悪くなります)

- ・[MONI]が橙・赤になる所
- ・冷蔵庫・空調設備・洗濯機・プリンター・電子レンジの近く
- ・音響機器(スピーカ等)の近く
※スピーカは振動しますので、端末の上へスピーカを置かないで下さい。
- ・テーブル、棚やラックの上、固定されていない棚など不安定な場所
- ・テレビやラジオの近く
- ・パーティーションなどの固定されていない物
- ・柱や筋交いが無い壁
- ・周囲に振動の発生源がある場所(発電機や工作機械の間近)

⚠注意 安全上のご注意について

安全上のご注意(2 ページ)についてもご確認ください。

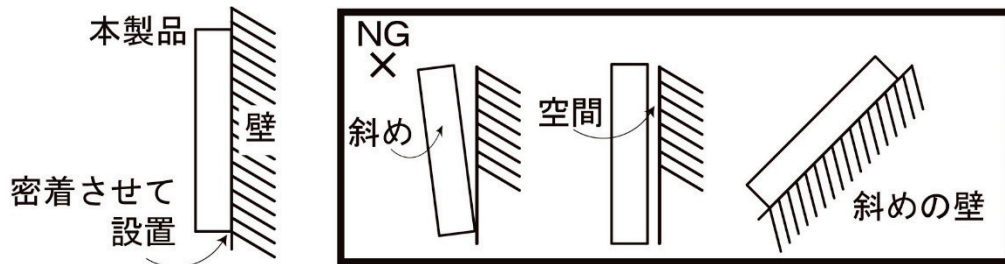
2. 壁掛けの場合、取り付ける向きを決めてください。



※次のような斜めでの設置はしないでください。

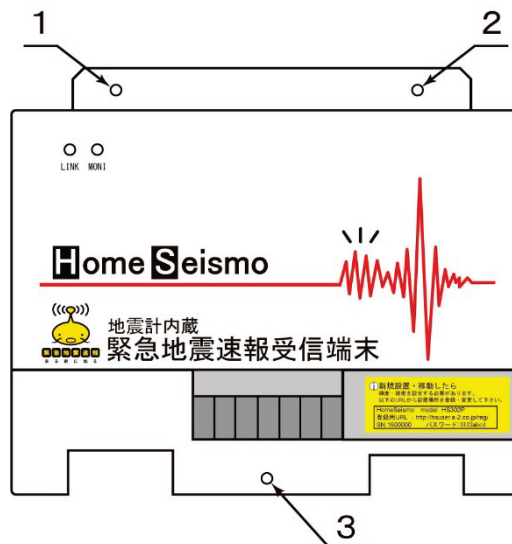


3. 取り付ける壁、床と端末を密着させてください。
壁からは浮いたりしないようにしてください。



4. ネジ止めを行ってください。

- ・1 の穴をネジで固定してください。
- ・垂直になるように調整して、2 の穴を固定します。
- ・3 の穴を固定してください(3 の穴は本体下部のカバー内にあります)



※取付け後、端末を上下左右に軽く動かして、がたつきがなく確実に固定されていることを確認してください。

※設置の際に電源を入れていた場合は、端末を再起動してください。電源を入れた後に端末を動かすと、内蔵地震計が正しく動作しません。

※壁掛けで設置する場合には、ケーブル類は壁に固定してください。ケーブル類が固定されずにぶら下がっている状態だと、ケーブルの揺れで内蔵地震計が誤動作を起こす可能性があります。

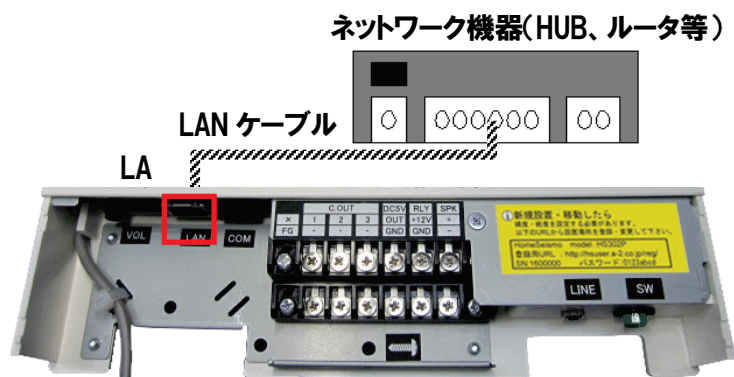
❗ 注意 内蔵地震計について

電源を入れたまま端末を動かすと、内蔵地震計が正しく動作しません。

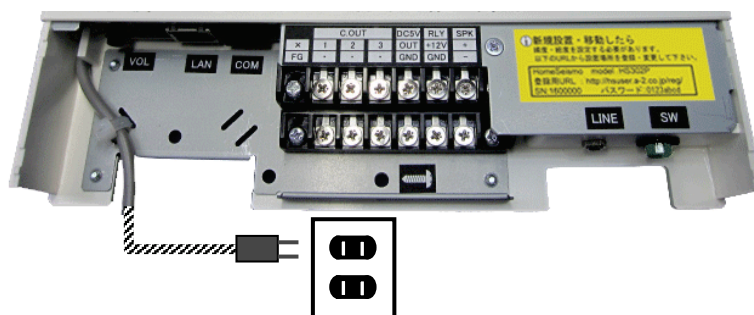
電源を入れたまま設置を行った場合は、端末を再起動してください。

3.2.2 ネットワークに接続する

1. 「LAN」に LAN ケーブルを差し込み、もう一方を HUB またはルータなどのネットワーク機器に接続してください。



2. 電源プラグをコンセントへ挿してください。



🏠 メモ LINK LED (ランプ) を確認してください。

センターに正しく接続されている場合は、電源投入後に LINK LED (ランプ) が「緑と橙が交互に点滅(新規ユーザ登録が未登録)」もしくは「緑色に点灯(新規ユーザ登録済み)」します。ご使用になる前に LINK LED が正しく点灯しているかご確認ください。

LED の対応方法については、WEB ページにて公開しております。

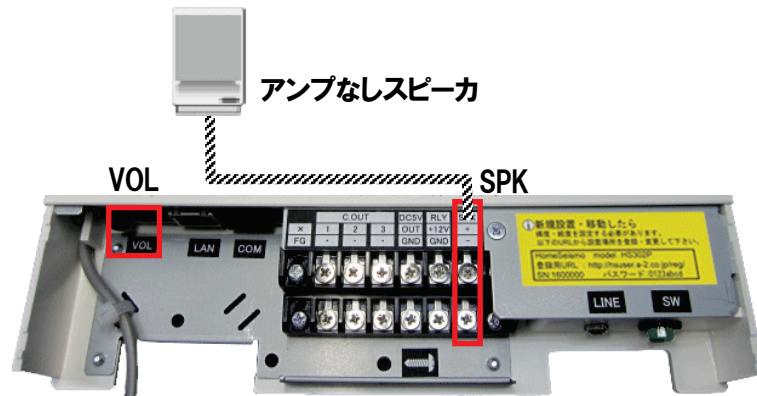
<https://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/led.html>

3.2.3 出力機器を接続する

仕様と放送機器への接続の詳しくについては「付録 1 HS302P 接点仕様」をご覧ください。

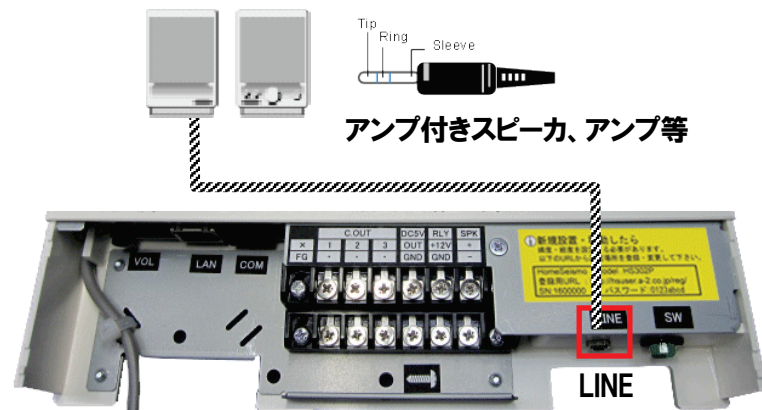
アンプなしスピーカと接続する場合

1. SPK にスピーカを接続してください。
2. ボリュームを「VOL」のつまみで調節してください(左回し小・右回し大)



館内放送と接続する場合

1. LINE を放送機器の音声入力端子と接続します。



2. LINE はアンプのあるスピーカを接続するためのコネクタですので、ボリュームは各機器で調節するか、HomeSeismo 端末設定画面にアクセスして調整してください(アクセス方法は「第 4 章 HomeSeismo 端末の設定変更」をご覧ください)

接点出力を利用したい場合

1. 「C.OUT」に機器を接続します。
接点出力の設定を変更する場合は、HomeSeismo 端末設定画面にアクセスしてください(アクセス方法は「第 4 章 HomeSeismo 端末の設定変更」をご覧ください)

3.3 新規ユーザ登録（設置場所の登録）を行う

3.3.1 新規ユーザ登録（設置場所の登録）を行う

1. 端末本体下部カバー内に貼られている黄色いシールに記載されている SN(シリアルナンバー)、パスワードを確認し、下記の表にご記載ください。



登録用 URL	https://hsuser.a-2.co.jp/reg/
SN(シリアルナンバー)	
パスワード(半角英数字 8 文字)	

2. 端末に貼られている黄色いシールに記載されている登録用 URL: <https://hsuser.a-2.co.jp/reg/> から、新規ユーザ登録(設置場所の登録)を行ってください。
 詳細については新規ユーザ登録の各ページからリンクされている「登録方法はこちら」<https://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/flow5.html> でご説明しております。ご不明点等がありましたら、WEB 上の「お問い合わせ」から弊社までお問い合わせください。

① 注意 端末の接続状態を確認してから登録を行って下さい

再度、新規ユーザ登録を行った場合、ご登録されたユーザ名・パスワードは無効になるのでご注意ください。ユーザ登録を始める前に以下の点を確認して下さい。

- ・端末に電源ケーブルと LAN ケーブルが挿してあるか
- ・端末の LINK ランプが緑と橙が交互に点滅、もしくは緑に点灯しているか

上記が確認できない場合は、再度、電源・LAN ケーブル・ネットワークの接続を確認してください。

確認できない場合は下記 URL をご覧下さい。

<https://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/flow4.html>

3.3.2 津波・噴火情報の受信設定を行う

1. <https://hs.a-2.co.jp/> のサイトの左メニューより「ログイン」をクリックしてユーザログインページにアクセスしてください。
 新規ユーザ登録で登録されたユーザ名とパスワードを入力してログインし、津波・噴火情報の受信設定を行います。

設定方法は下記 URL をご覧ください。

<https://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/flow6.html>

3.3.3 試験放送を行う

1. <https://hs.a-2.co.jp/>のサイトの左メニューより「ログイン」をクリックしてユーザログインページにアクセスしてください。
新規ユーザ登録で登録されたユーザ名とパスワードを入力してログインし、緊急地震速報の試験放送を行います。

試験放送の方法は下記 URL をご覧ください。

<https://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/flow7.html>

3.3.4 冗長化確認を行う (IPv4 接続端末のみ)

1. <https://hs.a-2.co.jp/>のサイトの左メニューより「ログイン」をクリックしてユーザログインページにアクセスしてください。
新規ユーザ登録で登録されたユーザ名とパスワードを入力してログインし、冗長化確認を行います。

冗長化確認の方法は下記 URL をご覧ください。

<https://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/flow8.html>

※IPv6 接続端末、HomeSeismo 再配信システムの端末は、本作業は不要です(作業不要のメッセージのみが表示されます)。

第4章 HomeSeismo 端末の設定変更

※端末設定画面へのアクセスは端末のネットワーク設定によって異なります。設定されているネットワークに該当するページをご覧ください。

<https://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/config.html> でもご案内しています。

- 4.1 HomeSeismo 端末設定画面へアクセスする
 - 4.1.1 HomeSeismo ユーザページからアクセスする方法
 - 4.1.2 Web ブラウザの URL 欄に端末の IP アドレスを入力してアクセスする方法
 - 4.1.3 メンテナンスモードでアクセスする方法
(パソコンと端末を直接接続してアクセス)

- 4.2 HomeSeismo 端末設定画面について
 - 4.2.1 TOP
 - 4.2.2 基本設定
 - 4.2.3 動作確認
 - 4.2.4 動作履歴
 - 4.2.5 連動設定
 - 4.2.6 再起動
 - 4.2.7 ファイル更新
 - 4.2.8 解析情報

4.1 HomeSeismo 端末設定画面へアクセスする

HomeSeismo 端末設定画面へのアクセス方法は、<https://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/config.html> でもご案内しています。

端末設定画面へのアクセス方法は下記 3 パターンになります。

- HomeSeismo ユーザページからアクセスする方法
- Web ブラウザの URL 欄に端末の IP アドレスを入力してアクセスする方法
- パソコンと端末を直接接続してアクセスする方法(メンテナンスモードでアクセス)

新規ユーザ登録を行っていない方が HomeSeismo 端末設定画面へアクセスする場合は、「第 3 章 設定から新規ユーザ登録まで」をご覧ください。

4.1.1 HomeSeismo ユーザページからアクセスする方法

HomeSeismo ユーザページにログインします。

<https://hs.a-2.co.jp/>のサイトの左メニューより「ログイン」をクリックしてユーザログインページにアクセスし、新規ユーザ登録で登録されたユーザ名とパスワードを入力してログインしてください。

「端末設定画面へのアクセス」ページより、端末設定画面へアクセスします。

「端末設定画面へのアクセス」ページには、2 つのアクセス方法が掲載されています。

方法 1. 設定変更を行うホームサイズモ端末と同じネットワーク上(同一セグメント上)にあるパソコンからアクセスする


- 同一ネットワーク上のパソコンからのみアクセスできます。
- 端末設定画面の全てにアクセスできます。
- HomeSeismo データセンターと切断していてもアクセスできます(端末 IP アドレスが変わっていない場合)

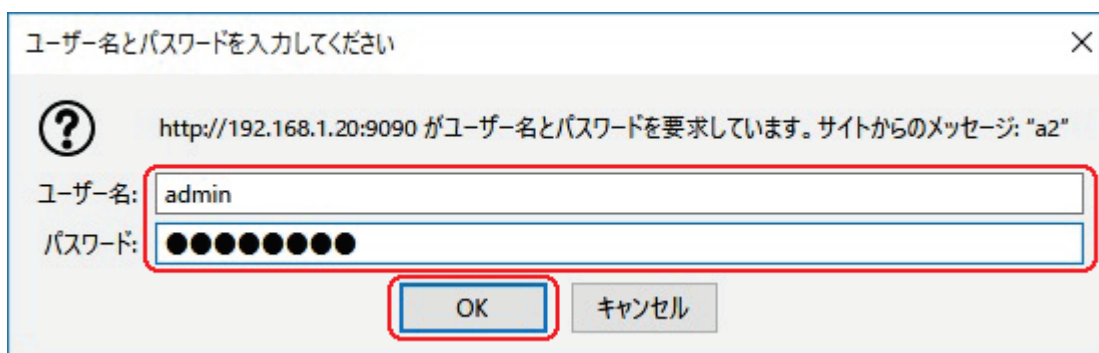
方法 2. ワンタイムパスワードを発行して、HomeSeismo データセンター経由でアクセスする

- インターネットに接続しているパソコンからアクセスできます。
- 端末設定画面のうち、設定変更に関わるページにのみアクセスできません。
- HomeSeismo データセンターと切断しているとアクセスできません。

方法 1. 設定変更を行うホームサイスマ端末と同じネットワーク上(同一セグメント上)にあるパソコンからアクセスする場合

1. ユーザページで表示されている URL をクリックします。
2. ユーザ名とパスワードの入力を求められますので、以下の通り入力し、「OK」をクリックしてログインしてください。

ユーザ名	admin
パスワード	<p>端末に貼られている黄色いシールに記載されているパスワード 【例】(パスワード:0123abcd) →端末に貼られている黄色いシールイメージ</p> 



※パスワードについては、セキュリティの問題上、「●」で表示されます。

方法 2. ワンタイムパスワードを発行して、HomeSeismo データセンター経由でアクセスする場合

1. 「発行」ボタンを押下して、ワンタイムパスワードを発行します。
2. ワンタイムパスワードはユーザページに登録されているメールアドレス宛に届きます。
3. ワンタイムパスワード発行完了画面に記載されているリンクをクリックし、端末のシリアル番号と発行されたワンタイムパスワードを入力して、端末設定画面にアクセスしてください。

4.1.2 Web ブラウザの URL 欄に端末の IP アドレスを入力してアクセスする方法

1. パソコンの Web ブラウザでアクセスする。

端末と同じネットワークに接続されているパソコンの Web ブラウザの URL 欄に、下記アドレスを入力してください。

※端末に割り振られているローカル IP アドレスが必要です。IP アドレスがわからない場合は、<https://hs.a-2.co.jp/>のサイトの左メニューより「ログイン」をクリックしてユーザログインページにアクセスし、新規ユーザ登録で登録されたユーザ名とパスワードを入力してログインしてください。「端末ステータス」で、「ローカル IP アドレス」を確認してください。

<IPv4 接続の場合>

http://端末 IP アドレス:9090/

例) 端末 IP アドレスが 192.168.1.20 だった場合

http://192.168.1.20:9090/

<IPv6 接続の場合>

http://[端末の IPv6 アドレス]:9090/

例) 端末の IP アドレスが

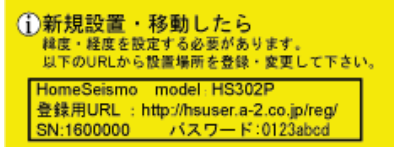
2001:70a0:be05:01b2:298c:1ac0:0001:17ea だった場合

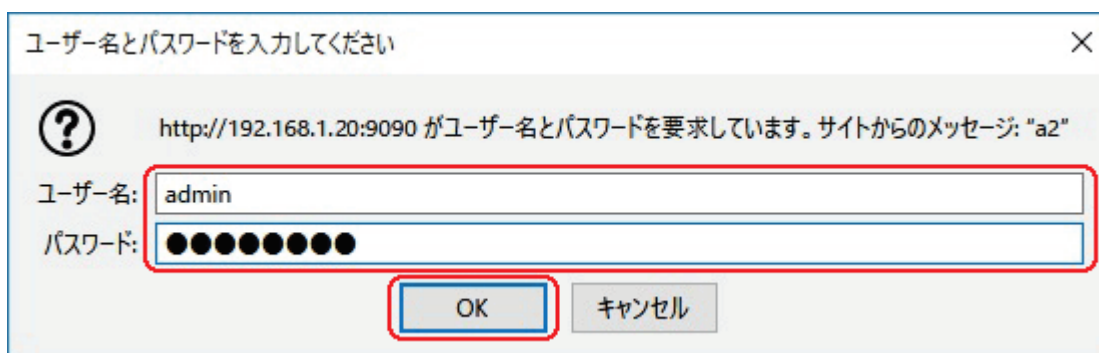
http://[2001:70a0:be05:01b2:298c:1ac0:0001:17ea]:9090/

端末設定画面が開かない場合、下記が考えられます。下記で解決できない場合は、「4.1.3 パソコンと端末を直接接続してアクセスする方法 (メンテナンスモードでアクセス)」(40 ページ)で端末設定画面へアクセスしてください。

- ・ 端末とパソコンが同一ネットワーク上にない。
端末と同一ネットワーク上にあるパソコンからアクセスしてください。
- ・ ローカル IP アドレスが違っている。
端末が切断中の場合は、表示されているローカル IP アドレスは、接続状態であったときの最後の IP アドレスとなりますので、実際の IP アドレスと異なる可能性があります。IP アドレスが分からない場合は「4.1.3 パソコンと端末を直接接続してアクセスする方法 (メンテナンスモードでアクセス)」(40 ページ)で端末設定画面へアクセスしてください。
- ・ Web ブラウザがプロキシ設定になっている。
端末設定画面にアクセスする間だけ、プロキシ設定を解除してください。

2. ユーザ名とパスワードの入力を求められますので、以下の通り入力し、「OK」をクリックしてログインしてください。

ユーザ名	admin
パスワード	<p>本体下部カバー内に貼られている黄色いシールに記載されているパスワード 【例】(パスワード:0123abcd) →端末に貼られている黄色いシールイメージ</p> 



※パスワードについては、セキュリティの問題上、「●」で表示されます。

4.1.3 パソコンと端末を直接接続してアクセスする方法 (メンテナンスモードでアクセス)

ユーザページにログインできないとき、もしくは IP アドレスがわからないときはメンテナンスモードでのアクセスとなります。

新規ユーザ登録を行っていない方がメンテナンスモードで HomeSeismo 端末設定画面へアクセスする場合は、「第 3 章 設定から新規ユーザ登録まで」をご覧ください。

メンテナンスモードで端末設定画面にアクセスする場合は、HomeSeismo とパソコンを直接 LAN ケーブルで接続し、パソコンにネットワーク設定を行います。

HomeSeismo の電源を抜き、LAN ケーブルも、HUB またはルータなどのネットワーク機器へ接続している場合は抜いてください。

また、すでにパソコンに他のネットワークの LAN ケーブルを接続している場合は、そちらも一旦 LAN ケーブルを抜いてください。

1. 本体下のローレットネジを手で外して、下部のカバーを取ります。

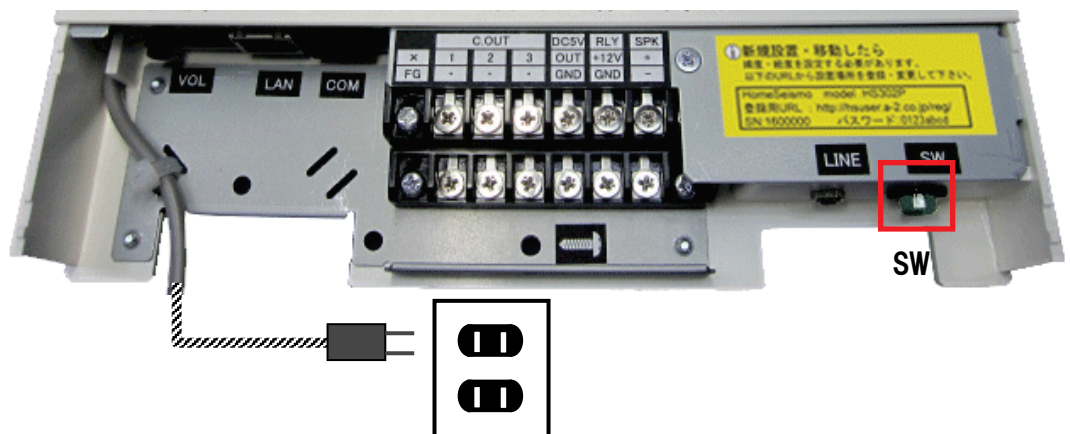


2. HomeSeismo をメンテナンスモードで起動します。

「SW(緑のスイッチ)」を押しながら電源プラグをコンセントに差し込み、端末を起動します。

LINKとMONIのLEDが橙の速い点滅になったら、メンテナンスモードで立ち上がっているので、「SW」から手を離してください。

※すでに電源が入っている場合は、「SW」を押し続けると再起動するので、メンテナンスモードで立ち上がるまで「SW」を押し続けてください。



メモ メンテナンスモードの端末のIPアドレス

メンテナンスモードでは以下の設定となります。

IP アドレス: 192.168.1.20

サブネットマスク: 255.255.255.0

①注意 他のネットワークのLANケーブルを抜いて下さい

すでにパソコンに他のネットワークのLANケーブルを接続している場合は、一旦LANケーブルを抜いてください。パソコンのネットワーク接続は、間違えるとネットワーク全体に影響を及ぼすことがあります。

3. パソコンと端末をLANケーブルで直接つなぎます。
(LANケーブルはクロスである必要はありません)



4. パソコンのネットワーク設定を行います。
パソコン IP アドレス: **192.168.1.100**
サブネットマスク: **255.255.255.0**

詳細については「3.1.3 パソコンのネットワーク設定を行う」(21 ページ)をご覧ください。

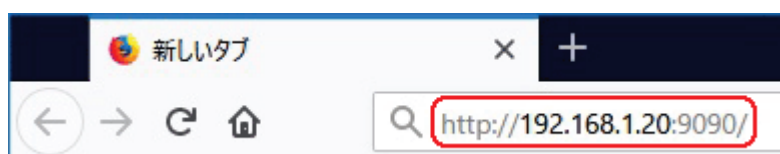
①注意 現在のパソコンの設定を控えておいて下さい

端末の設定完了後は、パソコンを設定前に戻しますので、どのような設定状態だったかメモ等で控えておいて下さい。

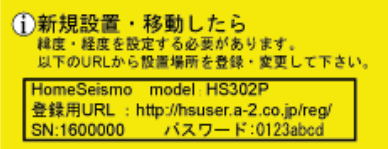
5. WEB ブラウザで、端末設定画面へアクセスします。
※ネットワークと接続されていないので、「サーバーが見つかりません」になります。
6. 下記アドレス(半角小文字)をブラウザへ入力し、キーボードの「enter」を押します。

http://192.168.1.20:9090/

※メンテナンスモードのアドレスです。



7. ユーザ名とパスワードの入力を求められますので以下の通り入力し、「OK」をクリックしてログインしてください。

ユーザ名	admin
パスワード	<p>本体下部カバー内に貼られている黄色いシールに記載されているパスワード 【例】(パスワード:0123abcd) →端末に貼られている黄色いシールイメージ</p> 

ユーザー名とパスワードを入力してください

http://192.168.1.20:9090 がユーザー名とパスワードを要求しています。サイトからのメッセージ: "a2"

ユーザー名: admin

パスワード: ●●●●●●●●

OK キャンセル

※パスワードについては、セキュリティの問題上、「●」で表示されます。

※ メンテナンスモードを終了する場合は、端末を再起動させます。

※ メンテナンスモードを終了したら、パソコンの設定を元に戻してください。

4.2 HomeSeismo の端末設定画面について

HomeSeismo 端末設定画面へのアクセス方法は、「4.1 HomeSeismo 端末設定画面へアクセスする」(37 ページ)をご覧ください。

4.2.1 TOP

メニュー項目と、情報表示の画面です。

HomeSeismo HS302P [ベーシックプラン]

TOP | 基本設定 | 動作確認 | 動作履歴 | 連動設定 | 再起動 | ファイル更新 | 解析情報

基本設定 動作確認 動作履歴 連動設定

再起動 ファイル更新 解析情報

• 緊急地震速報受信中や試験放送中には操作を行わないでください。

情報表示

ネットワーク情報

IPアドレス	192.168.1.20
MACアドレス	00:10:43:10:00:00
HomeSeismoデータセンター接続状態	接続中
NTP接続状態	接続中

システム情報

音声ガイド	高度利用者向けガイド
緊急地震速報チャイム音	NHK+REICチャイム音
料金プラン	ベーシックプラン
シリアル番号	1600000
音声アプリケーション	HS302P_Basic_1.3.1
システムアプリケーション	HS30x 0.4.0 (2018-08-29 16:40:00)
システム	Sun May 31 04:09:29 JST 2015

Copyright(C) 2019 A2 corp. All Rights Reserved.

<ネットワーク情報>

○IP アドレス

端末の現在のローカル IP アドレスです。

○MAC アドレス

端末の MAC アドレスです。

○HomeSeismo データセンター接続状態

HomeSeismo データセンターとの接続状態です。

「接続中」: HomeSeismo データセンターと接続中です。

「切断中」: HomeSeismo データセンターと切断中です。

○NTP 接続状態

NTP サーバとの接続状態です。

「接続中」: NTP サーバと接続中です。

「切断中」: NTP サーバと切断中です。

「同期調整中」: 接続直後は「同期調整中」の表示になる場合があります。

10 分以上経ってページを更新しても表示が変わらない場合は NTP 同期が不安定です。ローカルネットワークの負荷が高い等の可能性がありますので、ネットワーク管理者へお問合せください。

<システム情報>

○音声ガイドンス

現在設定されている音声ガイドンスです。

○緊急地震速報チャイム音

現在設定されている緊急地震速報のチャイム音です。

○料金プラン

選択されている料金プランです。

○シリアル番号

端末のシリアル番号です。

○音声アプリケーション

音声アプリケーションのバージョンです。

○システムアプリケーション

システムアプリケーションのバージョンです。

○システム

システム(OS)のバージョンです。

4.2.2 基本設定

1. TOP ページの「基本設定」をクリックしてください。
基本設定画面が表示されます。

HomeSeismo HS302P
[ベーシックプラン]

[TOP](#) | [基本設定](#) | [動作確認](#) | [動作履歴](#) | [連動設定](#) | [再起動](#) | [ファイル更新](#) | [解析情報](#)

基本設定

現在、以下の設定になっています。設定したい項目を入力、または選択してページ下の「登録」ボタンを押して下さい。設定を初期状態に戻したい場合、[設定の初期化](#)を行ってください。

ネットワーク

設定については使用するネットワークの管理者へ確認してください。

IPアドレスを自動的に取得する(DHCP) 【初期設定】

IPアドレス指定
(10.0.0.0/8の一部をお使いの場合には、個別の設定が必要となる場合があります。ご使用の場合はhomeseismo@a-2.co.jpまでお問合せください)

IPアドレス (例: 192.168.1.100)

サブネットマスク (例: 255.255.255.0)

デフォルトゲートウェイ (例: 192.168.1.1)

HomeSeismoローカルポート番号
ルータに複数台のHomeSeismoを設置して、接続が確立されない場合は、ローカルポート番号の変更をお試しください。

IPv6アドレスを自動的に取得する(RA)
使用するFlet's網

音声発報・接点出力動作停止時間帯

音声発報・接点出力動作停止時間帯 停止する 【初期設定: 停止しない】

時 分 ~ 時 分までは、音声発報と接点出力の動作を停止する

発報条件

津波・噴火情報の受信設定はユーザーページ (<https://hs.a-2.co.jp/>) にログインして行ってください。

緊急地震速報(警報) もしくは 緊急地震速報(予報)で音声発報・接点出力動作を行う 【初期設定】

緊急地震速報(警報)で音声発報・接点出力動作を行う

緊急地震速報(予報)で音声発報・接点出力動作を行う

[詳しく>>](#)
 緊急地震速報(警報)のみで発報する設定にした後、それ以外の設定に変更すると、緊急地震速報(予報)に対する次の項目の設定は初期設定になります。

<発報条件>
 ・音声ガイドンス 緊急地震速報(予報) 予測精度
 ・緊急地震速報(警報) 震源由来 気象庁発表の確からしさ
 ・緊急地震速報(予報) 震源由来 予測する震源の深さ
<緊急地震速報音声ガイドンス>
 ・緊急地震速報(予報) チャイム音
<接点出力・12V出力>
 ・ワンショット設定にしていた場合の緊急地震速報(予報) 予測精度

音声ガイドンス 予測精度 以上で音声発報 [詳しく>>](#)

緊急地震速報(予報) 予測精度 (段階4) 【初期設定: 3.5(段階4)】 設定可能範囲: 3.5[震度階級1]~6.5[震度階級7]

震源由来 予測精度 [詳しく>>](#)

音声ガイダンス 緊急地震速報(予報) 予測震度	予測震度 <input type="text" value="3.5"/> 以上で音声発報 詳しく>> 【初期設定: 3.5[震度階級4], 設定可能範囲: 0.5[震度階級1]~6.5[震度階級7]】 震度階級と予測震度について>>
緊急地震速報(予報:震源由来) 気象庁発表の確からしさ	<input type="checkbox"/> 気象庁からの緊急地震速報(予報:震源由来)に含まれる確からしさが低い場合でも、音声発報・接点出力動作を行う 詳しく>> 通常は、この項目のチェックを外した状態【初期設定】での使用を推奨いたします。 この項目をチェックすることで、早く発報できる場合がありますが、誤報が発表される可能性もあります。 緊急地震速報(警報:震源由来)では、確からしさが低いと気象庁から発表されません。
緊急地震速報(予報:震源由来) 予測する震源の深さ	<input type="checkbox"/> 気象庁からの緊急地震速報(予報:震源由来)に含まれる震源の深さが150kmより深い場合でも、音声発報・接点出力動作を行う 詳しく>> 通常は、この項目のチェックを外した状態【初期設定】での使用を推奨いたします。 この項目をチェックすることで、深い場所で発生した地震の予想も発報しますが、予測された震度が大きく異なる可能性があります。 緊急地震速報(警報:震源由来)では、震源の深さが150kmより深い場合は気象庁から発表されません。
音声ガイダンス P波検知	<input type="checkbox"/> P波検知を有効にする 【初期設定: 無効】 詳しく>> <input type="checkbox"/> 単独P波検知は無効にする(複数P波検知のみ) 予測震度 <input type="text" value="4"/> 相当以上で音声発報(単独P波検知は[4.5]相当以上) 【初期設定: 4.0[震度階級4], 設定可能範囲: 3.5[震度階級4]~6.5[震度階級7]】 震度階級と予測震度について>>

緊急地震速報音声ガイダンス

緊急地震速報 音声ガイダンス	<input type="radio"/> 一般向けガイダンス <input checked="" type="radio"/> 高度利用者向けガイダンス 【初期設定】 <input type="radio"/> カウントダウンガイダンス 詳しく>> 緊急地震速報(警報)で発報しても、ガイダンスの内容は緊急地震速報(予報)での計算結果に基づきます。
緊急地震速報(予報) チャイム音	<input checked="" type="radio"/> 予測震度5弱以上 NHKチャイム音 + 予測震度4以下 REICチャイム音 【初期設定】 <input type="radio"/> NHKチャイム音 (C)日本放送協会 <input type="radio"/> REICチャイム音 (C)リアルタイム地震・防災情報利用協議会 詳しく>> 緊急地震速報(警報)で発報した場合は、本設定にかかわらずNHKチャイム音のみです。

ラインアウト音量レベル

音量レベル	<input type="text" value="0"/> dB 【初期設定: 0】 小さい値 = 音量小, 大きい値 = 音量大
-------	---

放送開始遅延時間

放送開始遅延時間	<input type="text" value="0"/> ミリ秒 【初期設定: 0, 設定可能範囲: 0~30000】 接点出力に放送機器を接続している場合は、放送機器の起動時間を入力してください。 1秒=1000ミリ秒
----------	--

接点出力

接点出力を使用しない場合は設定を変更しないでください。
 「発報条件」の項目で、緊急地震速報(警報)で発報する設定にした場合、緊急地震速報(警報)でも動作します。
 「放送連動」は、放送が流れている間、接点が動作します。緊急地震速報(警報/予報)、P波検知、津波・噴火情報、キャンセル報等ガイダンス発報中に動作します。
 ワンショット設定は緊急地震速報(警報/予報)、P波検知でのみ動作します。津波・噴火情報、キャンセル報等では動作しません。
 1秒=1000ミリ秒

C.OUT 1 a接点	<input checked="" type="radio"/> 放送連動(音声ガイダンスと同じ条件で動作) 【初期設定】 詳しく>> <input type="radio"/> ワンショット 詳しく>> 出力時間 <input type="text" value="500"/> ミリ秒 (設定可能範囲: 0~60000) 緊急地震速報(予報) 予測震度 <input type="text" value="3.5"/> 以上で動作 (設定可能範囲: 0.5~6.5) <input type="checkbox"/> P波検知を有効にする <input type="checkbox"/> 単独P波検知は無効にする(複数P波検知のみ) 予測震度 <input type="text" value="4"/> 相当以上で動作(単独P波検知は[5]相当以上) (設定可能範囲: 3.5~6.5) <input checked="" type="checkbox"/> 試験放送で動作する 震度階級と予測震度について>>
C.OUT 2 a接点	<input checked="" type="radio"/> 放送連動(音声ガイダンスと同じ条件で動作) 【初期設定】 詳しく>> <input type="radio"/> ワンショット 詳しく>> 出力時間 <input type="text" value="500"/> ミリ秒 (設定可能範囲: 0~60000) 緊急地震速報(予報) 予測震度 <input type="text" value="3.5"/> 以上で動作 (設定可能範囲: 0.5~6.5) <input type="checkbox"/> P波検知を有効にする <input type="checkbox"/> 単独P波検知は無効にする(複数P波検知のみ) 予測震度 <input type="text" value="4"/> 相当以上で動作(単独P波検知は[5]相当以上) (設定可能範囲: 3.5~6.5) <input checked="" type="checkbox"/> 試験放送で動作する 震度階級と予測震度について>>
C.OUT 3 a接点	<input checked="" type="radio"/> 放送連動(音声ガイダンスと同じ条件で動作) 【初期設定】 詳しく>> <input type="radio"/> ワンショット 詳しく>> 出力時間 <input type="text" value="500"/> ミリ秒 (設定可能範囲: 0~60000) 緊急地震速報(予報) 予測震度 <input type="text" value="3.5"/> 以上で動作 (設定可能範囲: 0.5~6.5) <input type="checkbox"/> P波検知を有効にする <input type="checkbox"/> 単独P波検知は無効にする(複数P波検知のみ)

C.OUT 3
a接点

試験放送で動作する [高度階級と予測震度について>>](#)
 放送連動 (音声ガイダンスと同じ条件で動作) 【初期設定】 [詳しく>>](#)
 ワンショット [詳しく>>](#)
 出力時間 ミリ秒 (設定可能範囲: 0~60000)
 緊急地震速報(予報) 予測震度 以上で動作 (設定可能範囲: 0.5~6.5)
 P波検知を有効にする
 単独P波検知は無効にする (複数P波検知のみ)
 予測震度 相当以上で動作 (単独P波検知は[5]相当以上)
 (設定可能範囲: 3.5~6.5)
 試験放送で動作する [高度階級と予測震度について>>](#)

RLY
12V出力
a接点

放送連動 (音声ガイダンスと同じ震度で動作) 【初期設定】 [詳しく>>](#)
 ワンショット [詳しく>>](#)
 出力時間 ミリ秒 (設定可能範囲: 0~60000)
 緊急地震速報(予報) 予測震度 以上で動作 (設定可能範囲: 0.5~6.5)
 P波検知を有効にする
 単独P波検知は無効にする (複数P波検知のみ)
 予測震度 相当以上で動作 (単独P波検知は[5]相当以上)
 (設定可能範囲: 3.5~6.5)
 試験放送で動作する [高度階級と予測震度について>>](#)

「ガイダンス発報終了後」の
キャンセル通知

最後に発報した緊急地震速報に対して後からキャンセル報を受信した場合でも、音声・接点出力(放送連動のみ)動作を行う [詳しく>>](#)
 初期設定は、チェックを外した状態です。
 同時に複数の地震が発生した場合等ではキャンセル報を受信しても動作しない場合があります。

Copyright(C) 2019 A2 corp. All Rights Reserved.

<設定の初期化>

「基本設定」及び「連動設定」の画面で変更可能な下記の情報が、工場出荷時の設定に戻ります。

○基本設定

- ネットワーク
- 音声発報・接点出力動作停止時間帯
- 発報条件
- 緊急地震速報音声ガイダンス
- ラインアウト音量レベル
- 放送開始遅延時間
- 接点出力
- 12V 出力
- キャンセル報受信時の動作

○連動設定

- HS 連動 IPv4 ローカルアドレス設定
(ネットワーク設定で IPv6 を設定している場合のみ表示)

- HS 連動エイツー社製品 登録内容
- HS 連動エイツー社製品 設定

工場出荷時の設定については「付録3 工場出荷時設定」をご覧ください。

<ネットワーク>

ネットワーク設定は下記3項目から一つを選択してください。
設定については使用するネットワークの管理者へ確認してください。

○IPアドレスを自動的に取得する(DHCP)
工場出荷時の設定となります。

○IPアドレス指定

端末に割り振るIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。

次回からの端末設定画面アクセスに、ここで設定したIPアドレスが必要となります。本書巻末「付録4 端末設定メモ」へ記入をお願いします。

※10.0.0.0/8の一部のアドレスはご使用いただけません。ご使用の場合は homeseismo@a-2.co.jp までお問合せください。

○(NTT フレッツ網)IPv6アドレスを自動的に取得する(RA)
NTT フレッツ網を選択してください。

- ・東日本 NGN 光ネクスト・ライト(フレッツ・v6 オプション)
- ・西日本 NGN 光ネクスト・ライト(フレッツ・v6 オプション)

<音声発報・接点出力動作停止時間帯>

音声発報と接点出力の動作を停止する時間帯の設定です。

夜間、人がいないため放送設備で音声を流したくない等の場合に設定ください。
設定をする場合は、「停止する」にチェックをして、停止する時間帯を入力してください。

<発報条件>

緊急地震速報(警報/予報)とP波検知についての発報条件です。

津波・噴火情報の受信設定はユーザページ(<https://hs.a-2.co.jp/>)にログインして行ってください。

○緊急地震速報(警報/予報)発報条件

緊急地震速報(警報/予報)の発報条件です。

下記3項目から一つを選択してください。

- ・緊急地震速報(警報) もしくは 緊急地震速報(予報)で音声発報・接点出力動作を行う
- ・緊急地震速報(警報)で音声発報・接点出力動作を行う
- ・緊急地震速報(予報)で音声発報・接点出力動作を行う

緊急地震速報(警報)及び(予報)について

緊急地震速報(警報)及び(予報)の、気象庁からの発表条件等詳細については、<http://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/shikumi/shousai.html> をご確認ください。

従来手法(震源由来)及び PLUM 法について

震度の予想手法である従来手法(震源由来)と PLUM 法及び両手法のハイブリットについては、<http://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/plum/index.html> をご確認ください。

ホームサイズモでの設定画面・動作履歴表記及び発報について

ホームサイズモでの緊急地震速報(警報)及び(予報)の設定画面・動作履歴表記及び発報については、下記の通りとなります。

緊急地震速報(警報)	
緊急地震速報(警報:震源由来)	緊急地震速報(警報:PLUM)
気象庁が、予想した震源からの距離等から震度等を計算し、警報発表エリアを決定します。	気象庁が、観測したリアルタイム震度から震度等を計算し、警報発表エリアを決定します。
<p>緊急地震速報(警報)では、気象庁が震度等を計算し、「警報:震源由来」と「警報:PLUM」のどちらかを発表します(ハイブリット対応)。</p> <p>ホームサイズモでは登録された設置場所が含まれるエリアに緊急地震速報(警報)が発表された場合に発報を開始し、緊急地震速報(予報)の詳細情報をお知らせします。</p> <p>ただし、「警報:PLUM」で発報を開始し、「予報:震源由来」の震源情報がなく、「予報:PLUM」の発表もない場合は、震度及び猶予時間はなし(すぐに揺れます等)となります。</p> <p>また、「警報:PLUM」で発報を開始し、「予報:震源由来」の情報が下記の場合は、震度や猶予時間を音声でお知らせしていません(「予報:PLUM」の震度が出ている場合は、震度をお知らせします)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震観測点が1点で確からしさが低い場合 ・予測する震源の深さが150km以上だった場合 	
緊急地震速報(予報)	
緊急地震速報(予報:震源由来)	緊急地震速報(予報:PLUM)
ホームサイズモが、気象庁が予想した震源からの距離等から、登録された設置場所の震度・猶予時間を計算します。	ホームサイズモが、気象庁が発表したリアルタイム震度から、登録された設置場所の震度を計算します。 猶予時間は計算できないため、なし(すぐに揺れます等)となります。
<p>緊急地震速報(予報)では、ホームサイズモが震度と猶予時間を計算し、「予報:震源由来」と「予報:PLUM」の震度が大きい方の情報を採用します(ハイブリット対応)。</p> <p>発報は下記の設定に基づきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録された設置場所ピンポイントで予測された震度の設定 ・緊急地震速報(予報:震源由来)の「気象庁発表の確からしさ」の設定 ・緊急地震速報(予報:震源由来)の「予測する震源の深さ」の設定 	

設定に対する動作例

※緊急地震速報は、予報のみの発表か、予報と警報の両方の発表かになります。気象庁から警報のみが発表されることはありません。

※下記緊急地震速報(予報)の動作設定に、緊急地震速報(予報:震源由来)の「気象庁発表の確からしさ」の設定、緊急地震速報(予報:震源由来)の「予測する地震の深さ」の設定は加味していません。実際はその二つの設定も発報条件に加わります。

		動作設定内容				
		警報で動作	警報 もしくは 予報(4以上)で動作	警報 もしくは 予報(5弱以上)で動作	予報(4以上)で動作	予報(5弱以上)で動作
緊急地震速報 発表内容	警報+ 震度5弱予報	○	○	○	○	○
	警報+ 震度4予報	○	○	○	○	×
	警報+ 震度3予報	○	○	○	×	×
	震度5弱予報 (警報なし)	×	○	○	○	○
	震度4予報(警報なし)	×	○	×	○	×
	震度3予報(警報なし)	×	×	×	×	×

その他

緊急地震速報(警報)のみで発報する設定にした後、それ以外の設定に変更すると、緊急地震速報(予報)に対する次の項目の設定は初期設定になります。

[発報条件]

- ・音声ガイダンス 緊急地震速報(予報) 予測震度
- ・緊急地震速報(予報:震源由来) 気象庁発表の確からしさ
- ・緊急地震速報(予報:震源由来) 予測する震源の深さ

[緊急地震速報音声ガイダンス]

- ・緊急地震速報(予報) チャイム音

[接点出力・12V 出力]

- ・ワンショット設定にしていた場合の緊急地震速報(予報) 予測震度

○音声ガイダンス 緊急地震速報(予報) 予測震度

音声(「放送連動」設定の場合は接点出力も連動)で発報をする予測震度です。

○緊急地震速報(予報:震源由来) 気象庁発表の確からしさ

気象庁からの緊急地震速報に含まれる確からしさが低い場合でも、音声発報・接点出力動作を行うかどうかの設定です。

通常は、この項目のチェックを外した状態(初期設定)での使用を推奨いたします。

この項目をチェックすることで、早く発報できる場合がありますが、誤報が発表される可能性があります。

※気象庁発表の確からしさについて

気象庁の発表する緊急地震速報(予報:震源由来)の中には、「確からしさ」という情報が含まれています。

ここでの「確からしさが低い場合」とは、1点の地震観測点で地震波が観測された情報をもとに緊急地震速報が発表された場合のことです。

なお緊急地震速報は複数回送信され、情報が更新されていきます。最初の速報の「確からしさ」が低くても、続報によって「確からしさ」が高くなる場合があります。「確からしさが低い場合に～を行う」にチェックすることでより早く発表することができるとありますが、落雷などの衝撃で誤報を発表する可能性もあります。緊急地震速報(警報:震源由来)では、確からしさが低いと気象庁から発表されません。

○緊急地震速報(予報:震源由来) 予測する震源の深さ

気象庁からの緊急地震速報に含まれる地震の深さが150kmより深い場合でも、音声発報・接点出力動作を行うかどうかの設定です。

通常は、この項目のチェックを外した状態(初期設定)での使用を推奨いたします。

この項目をチェックすることで、深い場所で発生した地震の予想も発報しますが、予測された震度や猶予時間が大きく異なる可能性があります。

※予測する震源の深さについて

気象庁の発表する緊急地震速報(予報:震源由来)の中には、「震源の深さ」という情報が含まれています。

沈み込んだプレート内で発生するような震源の深い地震は「深発地震」と呼ばれ、震度を精度よく予測することは困難です。

緊急地震速報(警報:震源由来)では、深発地震では正確な震度分布を予想できないことから、深さを150kmより深いと推定した深発地震に対しては発表を行いません。

ホームサイスマでは、緊急地震速報(予報:震源由来)を発報する場合、「震源の深さが150kmより深い場合でも～を行う」にチェックすることで深発地震を発報することができますが、「深発地震の予想精度が十分でない」ことを利用者へ明示(注意喚起)する必要があります。

なお、緊急地震速報(予報)は複数回送信され、情報が更新されていきます。最初の速報の「震源の深さ」が150km以内であっても、続報によって「震源の深さ」が深くなる場合があります。

「震源の深さ」が150km以内で発報を開始した場合、続報で「震源の深さ」が150kmを越えても発報を継続します。

○P 波検知

内蔵地震計の P 波検知による発報の設定です。

有効に設定した場合、内部のセンサーが揺れを検知すると音声(「放送連動」設定の場合は接点出力も連動)でお知らせします。

P 波検知の設定予測震度は 3.5 以上相当です。

生活振動ノイズによる誤動作が起きる可能性があります。工場出荷時の設定は「無効」ですので、技術的な限界をご理解の上、「有効」に設定しご利用いただくようお願いいたします。

●複数 P 波検知/単独 P 波検知

詳細はホームサイズモの WEB サイト(<https://www.a-2.co.jp/homeseismo/>)を参照してください。

<緊急地震速報音声ガイダンス>

音声ガイダンス・チャイム音の選択です。

ホームサイズモの WEB サイト(<https://www.a-2.co.jp/homeseismo/>)で視聴が可能です。

○一般向けガイダンス

予測震度や猶予時間は伝えず、あいまいな表現(「すぐ強い地震が来ます」等)と「身の安全を確保してください」などのメッセージで注意を呼びかけます。

商業施設や公的施設などで緊急地震速報の訓練を受けていない利用者が聞く環境で推奨されます。

○高度利用者向けガイダンス

予測震度と猶予時間に加えて、「身の安全を確保してください」などのメッセージで注意を呼びかけます。

震度や猶予時間を聞いてパニックが起こらないように、日頃から試験放送による訓練を行ってください。

○カウントダウンガイダンス

予測震度と猶予時間を繰り返し発報します。

猶予時間が 10 秒未満になると秒数のカウントダウンを行います(9,8,...,2,1)。

なお緊急地震速報は複数回送信され、情報が更新されていきます。

猶予時間が更新され、1 秒刻みのカウントダウンでなくなる場合があります。

ご了承の上ご選択ください。

例:6,5,2,1(5 秒のカウント後、情報が更新)

○予測震度 5 弱以上 NHK チャイム音 + 予測震度 4 以下 REIC チャイム音

商業施設や公的施設など、緊急地震速報の訓練を受けていない利用者が聞く環境では必ずこちらをご選択ください。

○NHK チャイム音 (C)日本放送協会

NHK が緊急地震速報用に作成したチャイム音です。

利用者が日頃から試験放送による訓練を行っている環境で使用することが推奨されます。

商業施設や公的施設など、緊急地震速報の訓練を受けていない利用者が聞く環境では選択しないでください。

○REIC チャイム音 (C)リアルタイム地震・防災情報利用協議会

NHK チャイム音よりも緊迫感のあるチャイム音です。

利用者が日頃から試験放送による訓練を行っている環境で使用することが推奨されます。

※チャイム音の視聴でユーザ名とパスワードの入力が必要な場合は、端末設定画面へのアクセスと同じです(ユーザ名:admin、パスワード:黄色シール記載)

<ラインアウト音量レベル>

LINE コネクタへ接続した放送機器の音量レベルを調節します。

小さい値 = 音量小、大きい値 = 音量大 となります。

<放送開始遅延時間>

接点出力に放送機器を接続している場合、ガイダンスの冒頭部分が放送されないときに、放送機器の起動時間を設定してください。1秒は1000ミリ秒です。

設定された値だけ、緊急地震速報が届いてから放送を開始するタイミングが遅れます。放送機器に接続しない場合には0のままご利用ください。

<接点出力>

接点出力、C.OUT1、2、3の設定です。

接点出力を使用しない場合は設定を変更しないでください。

a 接点で、通常は開放、動作時に短絡となります。

○放送連動

放送が流れている間、接点が動作します。

緊急地震速報(警報/予報)、P波検知、津波・噴火情報等、ガイダンス発報中は全て動作します。

緊急地震速報(警報)での動作、緊急地震速報(予報)での動作・動作震度、P波検知の有効/無効・動作震度は、すべて発報条件設定と連動します。また、試験放送でも必ず動作します。

○ワンショット

設定した時間だけ接点が動作します。

緊急地震速報(警報/予報)、P波検知でのみ動作します。

津波・噴火情報、キャンセル報では動作しません。

緊急地震速報(警報/予報)での動作は、発報条件設定と連動します。

緊急地震速報(予報)での動作震度、P波検知の有効/無効・動作震度、試験放送時の動作の有無は個別設定できます。

1秒は1000ミリ秒です。

動作後5秒間は再動作しません。

<12V 出力>

12V 出力、RLY(a 接点)の設定です。

12V 出力を使用しない場合は設定を変更しないでください。

a 接点で、通常は開放、動作時に短絡となります。

○放送連動

放送が流れている間、12V が流れます。

緊急地震速報(警報/予報)、P 波検知、津波・噴火情報等、ガイダンス発報中は全て動作します。

緊急地震速報(警報)での動作、緊急地震速報(予報)での動作・動作震度、P 波検知の有効/無効・動作震度は、すべて発報条件設定と連動します。また、試験放送でも必ず動作します。

○ワンショット

設定した時間だけ 12V が流れます。

緊急地震速報(警報/予報)、P 波検知でのみ動作します。

津波・噴火情報、キャンセル報では動作しません。

緊急地震速報(警報/予報)での動作は、発報条件設定と連動します。

緊急地震速報(予報)での動作震度、P 波検知の有効/無効・動作震度、試験放送時の動作の有無は個別設定できます。

1 秒は 1000 ミリ秒です。

動作後 5 秒間は再動作しません。

<キャンセル報受信時の動作>

最後に発報した緊急地震速報に対して後からキャンセル報を受信した場合に、音声・接点出力(放送連動のみ)動作を行うかどうかの設定です。

初期設定は、チェックを外した状態です。

同時に複数の地震が発生した場合等ではキャンセル報を受信しても動作しない場合があります。

※キャンセル報受信時の動作について

ガイダンス発報中にキャンセル報を受信した場合、「ただ今の地震はキャンセルされました」が流れガイダンスを停止します。

「放送連動」設定の接点出力はガイダンス終了に同期して動作を終了しますが、

「ワンショット」設定の接点出力は設定された時間動作し続けます。

本項目は、ガイダンス終了後にキャンセル報を受信した場合の設定です。

「最後に発報した緊急地震速報に対して～を行う」にチェックをすると、「放送連動」設定の接点出力が動作し「先ほどの緊急地震速報はキャンセルされました」が流れます。

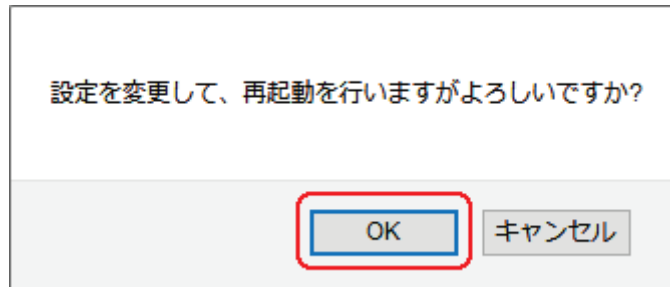
キャンセル報は、気象庁からの送信に長い時間がかかる可能性もあります。

本項目をチェックすると、発報終了直後だけではなく、時間が経ったあとにキャンセルガイダンスが流れる可能性もあります。

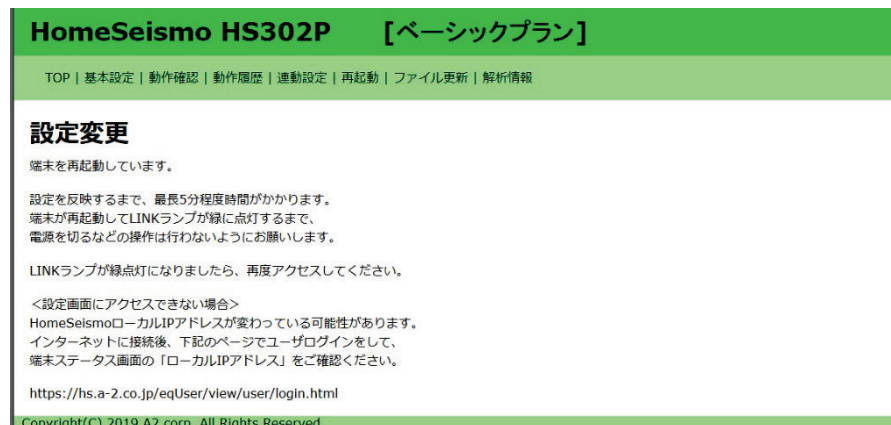
発報していない緊急地震速報のキャンセル報、最後に発報した緊急地震速報以外のキャンセル報では動作しません。

同時に複数の地震が発生した場合等では、キャンセル報を受信しても動作しない場合があります。

2. 変更したい項目を設定したら、ページ一番下の「登録」ボタンをクリックします。
3. 設定変更の確認ダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。



4. 設定変更中の画面が表示されます。
端末が再起動を行いますので、起動するまで電源を切るなどの操作は行わないようにお願いします。
引き続き端末設定画面をご利用の場合は、利用するメニューの項目をクリックしてください。
端末設定画面にアクセスできない場合は、端末の IP アドレスが変わっている可能性がありますので、再度 <https://hs.a-2.co.jp/> のサイトの左メニューより「ログイン」をクリックしてユーザログインページにアクセスし、「端末ステータス」で、「ローカル IP アドレス」を確認してください。



4.2.3 動作確認

音声出力・接点出力の動作確認が行えます。

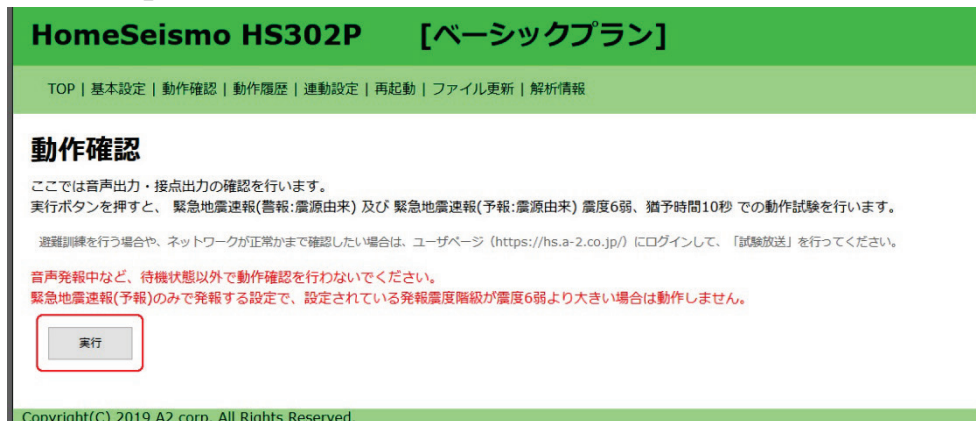
緊急地震速報(警報:震源由来)及び緊急地震速報(予報:震源由来)震度 6 弱、猶予時間 10 秒での動作確認です。

ネットワークが正常か確認したい場合は、<https://hs.a-2.co.jp/> のサイトの左メニューより「ログイン」をクリックしてユーザログインページにアクセスし、「緊急地震速報試験放送ページ」より試験放送を行ってください。

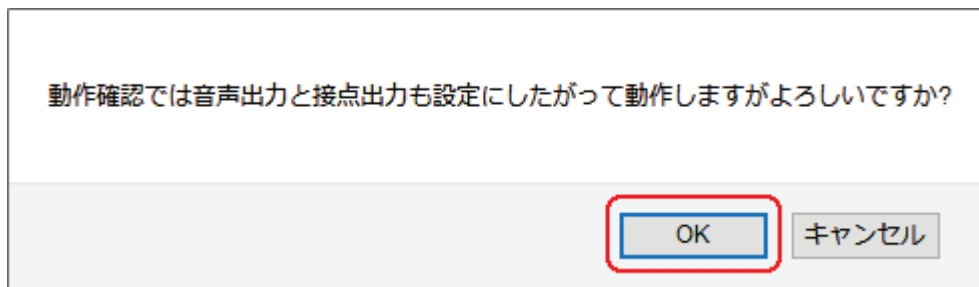
①注意 待機状態以外の状態では動作試験を行わないでください

音声警報中など待機状態以外の状態では動作試験を行わないでください。
緊急地震速報(予報)のみで発報する設定で、設定されている警報震度階が震度6弱より大きい場合は動作しません。

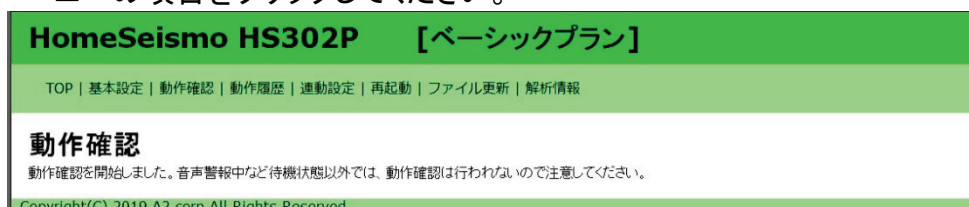
1. TOP ページの「動作確認」をクリックしてください。
動作確認画面が表示されます。
2. 「実行」ボタンをクリックします。



3. 動作確認の確認ダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。



4. 動作確認中の画面が表示され、音声がかかります。
放送が終了するまで操作を行わないでください。
放送終了後、引き続き端末設定画面をご利用の場合は、利用するメニューの項目をクリックしてください。



4.2.4 動作履歴

1. TOP ページの「動作履歴」をクリックしてください。
動作履歴画面が表示されます。



ログの内容は以下の通りです。

※ログについては、新しい情報が下に表示されます。古い情報は上から消えていきます。

動作履歴(表示内容)	ログの内容
起動	端末が起動しました
メンテナンス起動	メンテナンスモードで起動しました
NTP での時刻同期	起動してから最初に NTP で時刻合わせした時及び NTP 切断状態から接続状態へ変化した時です
NTP での時刻非同期	NTP で時刻合わせができない時です
センター接続	センターに接続されました
センター切断	センターと切断されました
NGN IPv6 DNS に接続 ※LINK LED が橙の遅い点滅の場合の切り分け用ログです。 ※ひかり電話をご使用の回線で、DHCPv6-PD 対応のルータをご使用の場合はルータの設定が必要となります。設定に必要な情報は、購入元にお問い合わせください。	LINK LED が橙の遅い点滅でこの履歴が表示されている場合、下記の可能性があります 「東/西:NGN IPv6 DNS 解決に失敗」が併せて表示されている場合、東と西の設定が実際と異なっています 「東/西:NGN IPv6 DNS 解決に失敗」が表示されていない場合、お客様ネットワークのファイアウォールで通信を拒否されている可能性があります

動作履歴(表示内容)	ログの内容
<p>東:NGN IPv6 DNS 解決に失敗</p> <p>※LINK LED が橙の遅い点滅の場合の切り分け用ログです。</p> <p>※ひかり電話をご使用の回線で、DHCPv6-PD 対応のルータをご使用の場合はルータの設定が必要となります。設定に必要な情報は、購入元にお問い合わせください。</p>	<p>LINK LED が橙の遅い点滅でこの履歴が表示されている場合、下記の可能性があります</p> <p>「NGN IPv6 DNS に接続」が併せて表示されている場合、東の設定で、西の NGN 網に接続しています</p> <p>「NGN IPv6 DNS に接続」が表示されていない場合、NGN 以外の IPv6 網に接続しています</p>
<p>西:NGN IPv6 DNS 解決に失敗</p> <p>※LINK LED が橙の遅い点滅の場合の切り分け用ログです。</p> <p>※ひかり電話をご使用の回線で、DHCPv6-PD 対応のルータをご使用の場合はルータの設定が必要となります。設定に必要な情報は、購入元にお問い合わせください。</p>	<p>LINK LED が橙の遅い点滅でこの履歴が表示されている場合、下記の可能性があります</p> <p>「NGN IPv6 DNS に接続」が併せて表示されている場合、西の設定で、東の NGN 網に接続しています</p> <p>「NGN IPv6 DNS に接続」が表示されていない場合、NGN 以外の IPv6 網に接続しています</p>
<p>SW 長押しによる再起動</p>	<p>SW 長押しにより再起動されました</p>
<p>ユーザ再起動</p>	<p>端末設定画面からユーザにより再起動されました</p>
<p>遠隔操作による再起動</p>	<p>センターから再起動されました</p>
<p>ネットワーク切断による自動再起動</p>	<p>ネットワークが切断された為、自動で再起動されました</p>
<p>緊急地震速報(警報:震源由来/予報:震源由来)受信 第 x 報 予測震度 x 猶予時間 x</p>	<p>緊急地震速報(警報:震源由来 / 予報:震源由来)を受信しました</p>
<p>緊急地震速報(警報:PLUM/予報:震源由来)受信 第 x 報 予測震度 x 猶予時間 x</p>	<p>緊急地震速報(警報:PLUM / 予報:震源由来)を受信しました</p>
<p>緊急地震速報(予報:震源由来)受信 第 x 報 予測震度 x 猶予時間 x</p>	<p>緊急地震速報(予報:震源由来)を受信しました</p>
<p>緊急地震速報(予報:震源由来)受信 第 x 報 予測震度 x 猶予時間 x [低]</p>	<p>確からしさが低い緊急地震速報(予報:震源由来)を受信しました</p> <p>「気象庁発表の確からしさ」の設定を有効にしていない場合は発報しません</p> <p>こちらの情報で発報した場合、予想精度が十分でない可能性があります</p> <p>(警報:震源由来もしくは警報:PLUM も発表されている場合は、そちらも記載されます。警報で発報する設定になっている場合、震度や猶予時間を音声でお知らせしません。予報:PLUM の震度が出ている場合は、そちらの震度をお知らせします)</p>

動作履歴(表示内容)	ログの内容
緊急地震速報(予報:震源由来)受信 第 x 報 予測震度 x 猶予時間 x [深]	震源深度 150km 以上の緊急地震速報(予報:震源由来)を受信しました 「予測する地震の深さ」の設定を有効にしていない場合は発報しません こちらの情報で発報した場合、予想精度が十分でない可能性があります (警報:震源由来もしくは警報:PLUM も発表されている場合は、そちらも記載されません。警報で発報する設定になっている場合、震度や猶予時間を音声でお知らせしません。予報:PLUM の震度が出ている場合は、そちらの震度をお知らせします)
緊急地震速報(予報:PLUM)受信 予測震度 x	緊急地震速報(予報:PLUM)を受信しました
未発報(震源距離 2000km 以上)	緊急地震速報(予報:震源由来)で震源距離が 2000km 以上の為、発報されません
未発報(震源情報なしのため)	緊急地震速報(予報:震源由来)で震源情報が含まれていない為、発報されません
未発報(不正なマグニチュードデータのため)	緊急地震速報(予報:震源由来)で不正なマグニチュードの値が含まれている為、発報されません
未発報(リアルタイム震度観測点が 1 点のため)	緊急地震速報(予報:PLUM)でリアルタイム震度観測点が 1 点の為、発報されません
未発報(時刻情報不一致)	緊急地震速報の時刻が端末の時刻情報と不一致な為、発報されません
緊急地震速報受信 キャンセル報	キャンセル報を受信しました
複数 P 波検知情報を受信	HomeSeismo データセンターから複数 P 波検知情報を受信しました
内蔵地震計 複数 P 波検知 震度 x 相当	内蔵地震計で音声ガイダンスの閾値を超えた場合のログです(P 波検知有効時のみ表示)
内蔵地震計 複数 P 波検知終了 結果(最大値) S 波予測震度 x 相当・xgal S 波実測震度 x 相当・xgal	内蔵地震計が揺れを検知した時の最大値(P波検知有効で設定閾値より大きいときに表示)です
内蔵地震計 単独 P 波検知 震度 x 相当	内蔵地震計で音声ガイダンスの閾値を超えた場合のログです(単独 P 波検知有効時のみ表示)
内蔵地震計 単独 P 波検知終了 結果(最大値) S 波予測震度 x 相当・xgal S 波実測震度 x 相当・xgal	内蔵地震計が揺れを検知した時の最大値(単独P波検知有効で設定閾値より大きいときに表示)です

動作履歴(表示内容)	ログの内容
大津波警報(特別警報)を受信	大津波警報(特別警報)を受信しました
津波警報を受信	津波警報を受信しました
津波注意報を受信	津波注意報を受信しました
噴火警報(特別警報)を受信	噴火警報(特別警報)を受信しました
噴火警報を受信	噴火警報を受信しました
緊急地震速報(警報:震源由来)による音声出力開始	緊急地震速報(警報:震源由来)での音声出力が開始されました
緊急地震速報(警報:PLUM)による音声出力開始	緊急地震速報(警報:PLUM)での音声出力が開始されました
緊急地震速報(予報:震源由来)による音声出力開始	緊急地震速報(予報:震源由来)での音声出力が開始されました
緊急地震速報(予報:PLUM)による音声出力開始	緊急地震速報(予報:PLUM)での音声出力が開始されました
緊急地震速報のキャンセルを通知	緊急地震速報のキャンセルを通知しました
内蔵地震計による音声出力開始	内蔵地震計での音声出力が開始されました
大津波警報(特別警報)による音声出力開始	大津波警報(特別警報)での音声出力が開始されました
津波警報による音声出力開始	津波警報での音声出力が開始されました
津波注意報による音声出力開始	津波注意報での音声出力が開始されました
噴火警報(特別警報)による音声出力開始	噴火警報(特別警報)での音声出力が開始されました
噴火警報による音声出力開始	噴火警報での音声出力が開始されました
【試験】緊急地震速報(警報:震源由来/予報:震源由来)受信 第 1 報 予測震度 x 猶予時間 x	Web サイト https://hs.a-2.co.jp/ からの緊急地震速報試験放送です
【試験】緊急地震速報(予報:震源由来)受信 第 1 報 予測震度 x 猶予時間 x	Web サイト https://hs.a-2.co.jp/ からの緊急地震速報試験放送です
SW による試験放送	SW 押下での緊急地震速報動作試験です
ユーザによる試験放送	端末設定画面からの緊急地震速報動作試験です
【試験】大津波警報(特別警報)を受信	Web サイト https://hs.a-2.co.jp/ からの津波情報試験放送です

動作履歴(表示内容)	ログの内容
【試験】津波警報を受信	Web サイト https://hs.a-2.co.jp/ からの津波情報試験放送です
【試験】津波注意報を受信	Web サイト https://hs.a-2.co.jp/ からの津波情報試験放送です
【試験】噴火警報(特別警報)を受信	Web サイト https://hs.a-2.co.jp/ からの噴火情報試験放送です
【試験】噴火警報を受信	Web サイト https://hs.a-2.co.jp/ からの噴火情報試験放送です
【試験】緊急地震速報(警報:震源由来)による音声出力開始	緊急地震速報の試験放送での音声出力が開始されました
【試験】緊急地震速報(予報:震源由来)による音声出力開始	緊急地震速報の試験放送での音声出力が開始されました
【試験】大津波警報(特別警報)による音声出力開始	大津波警報(特別警報)の試験放送での音声出力が開始されました
【試験】津波警報による音声出力開始	津波警報の試験放送での音声出力が開始されました
【試験】津波注意報による音声出力開始	津波注意報の試験放送での音声出力が開始されました
【試験】噴火警報(特別警報)による音声出力開始	噴火警報(特別警報)の試験放送での音声出力が開始されました
【試験】噴火警報による音声出力開始	噴火警報の試験放送での音声出力が開始されました
C.OUTx ON/OFF	接点出力の動作です
RLY ON/OFF	12V 出力の動作です
SW ON/OFF	SW の動作です
xxx へ送信 xxx.xxx.xxx.xxx:xxxx	LED 表示器及び LAN スピーカ(登録した端末名、送信先の IP アドレス:ポート番号)へ情報を送信しました

- 引き続き端末設定画面をご利用の場合は、利用するメニューの項目をクリックしてください。

4.2.5 連動設定

エイツー社製 LED 表示器 DP-1S、LAN スピーカ KA02-HS との連動設定が行えます。

- TOP ページの「連動設定」をクリックしてください。
エイツー社製 LED 表示器、LAN スピーカの登録内容画面が表示されます。

2. 「設定変更」ボタンをクリックします。

HomeSeismo HS302P [ベーシックプラン]

TOP | 基本設定 | 動作確認 | 動作履歴 | 連動設定 | 再起動 | ファイル更新 | 解析情報

HS連動エイト社製品 登録内容

※エイト社製品 (LED表示器 DP-1S、LANスピーカ KA02-HS) の登録/変更を行うには、ページ下の「設定変更」ボタンを押してください。

HS連動IPv4ローカルアドレス

IPv4アドレス	
サブネットマスク	

HS連動エイト社製品登録リスト

No.	端末名	IPアドレス	ポート番号
エイト社製品が未登録の場合には、何も表示されません。			

【LED表示器】表示モード

表示モード	音声ガイダンス設定に連動した表示
-------	------------------

設定変更

Copyright(C) 2019 A2 corp. All Rights Reserved.

3. 連動設定画面が表示されます。

HomeSeismo HS302P [ベーシックプラン]

TOP | 基本設定 | 動作確認 | 動作履歴 | 連動設定 | 再起動 | ファイル更新 | 解析情報

HS連動エイト社製品 設定

連動させたいエイト社製品 (LED表示器 DP-1S、LANスピーカ KA02-HS) について入力をして、ページ下の「登録」ボタンを押して下さい。
※LED表示器とLANスピーカは併用可能です。

HS連動IPv4ローカルアドレス設定

他機器と連動するための、HomeSeismo端末ローカルIPv4アドレスを設定します。
ネットワーク設定 (基本設定ページで設定) を「IPv6」に設定している場合に本設定を行ってください。
HomeSeismoデータセンターとの接続ではIPv6アドレスを使い、他機器との連動及びローカルネットワーク上から端末設定画面へアクセスする際にはここで設定したIPv4アドレスを使用します。
※HomeSeismo専用のIPv6回線でデータセンターと接続する場合、DP-1S・KA02-HSとの連動にはIPv6対応ルータが必要となります。

IPv4アドレス	(例: 192.168.1.100)
サブネットマスク	255.255.255.0 (例: 255.255.255.0)

HS連動エイト社製品登録

ホームサイズモと連動する機器を登録します。
設定内容については使用するネットワークの管理者へ確認してください。
[参考] LED表示器工場出荷時IPアドレス: 192.168.1.120 ポート番号: 9000
[参考] LANスピーカ工場出荷時IPアドレス: 192.168.1.20 ポート番号: 9000 (固定)
※端末名で使用できる半角記号はハイフンとアンダーバーのみです。

No.	端末名	IPアドレス	ポート番号
1.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
4.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
5.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
6.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
7.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
8.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

【LED表示器】表示モード設定

緊急地震速報受信時のLED表示器 表示モードを設定してください。
LED表示器が動作する内容は、下記の表示モード設定以外はHomeSeismo端末の設定と連動します。
予測震度・猶予時間カウントダウン表示の場合、PLUM法により下記の表示になることがあります。
・予測震度が不明な場合: 「震度 -」 (ハイフン表示)
・猶予時間が不明な場合: 「あと 0秒」 (ゼロ表示)

表示モード	<input checked="" type="radio"/> 放送連動 (音声ガイダンス設定に連動した表示) 一般向けガイダンス→一般向け表示 高度利用者向けガイダンス・カウントダウンガイダンス=予測震度・猶予時間カウントダウン表示 <input type="radio"/> 音声ガイダンスと表示モードを独立して設定する <input type="radio"/> 一般向け表示 <input checked="" type="radio"/> 予測震度・猶予時間カウントダウン表示
-------	---

登録

キャンセル

戻る

Copyright(C) 2019 A2 corp. All Rights Reserved.

<HS 連動 IPv4 ローカルアドレス設定>

※HomeSeismo を IPv6 アドレスで使用している場合(基本設定ページのネットワーク設定)のみ表示

他機器と連動するための、HomeSeismo 端末ローカル IPv4 アドレスを設定します。

ネットワーク設定(基本設定ページで設定)を「IPv6」に設定している場合に本設定を行ってください。

HomeSeismo データセンターとの接続では IPv6 アドレスを使い、他機器との連動及びローカルネットワーク上から端末設定画面へアクセスする際にはここで設定した IPv4 アドレスを使用します。

※HomeSeismo 専用の IPv6 回線でデータセンターと接続する場合、DP-1S・KA02-HS との連動には IPv6 対応ルータが必要となります。

<HS 連動エイツー社製品登録>

HomeSeismo からのデータ送信先の端末名(識別用)、IP アドレス、ポート番号を入力してください。

端末名で利用できる半角記号はハイフンとアンダーバーのみです。

LED 表示器と LAN スピーカは併用可能です。

[参考] LED 表示器工場出荷時 IP アドレス:192.168.1.120 ポート番号:9000

[参考] LAN スピーカ工場出荷時 IP アドレス:192.168.1.20 ポート番号:9000(固定)

<【LED 表示器】表示モード設定>

緊急地震速報受信時の LED 表示器 表示モードの設定を選択します。

LED 表示器が動作する内容は、本表示モード設定以外は HomeSeismo 端末の設定と連動します。

予測震度・猶予時間カウントダウン表示の場合、PLUM 法により下記の表示になることがあります。

- ・予測震度が不明な場合:「震度 -」(ハイフン表示)
- ・予測猶予時間が不明な場合:「あと 0 秒」(ゼロ表示)

○放送連動

音声ガイダンス設定に連動した表示になります。

一般向けガイダンスを選択している場合は、一般向け表示(予測震度や猶予時間は表示せず、あいまいな表現(「すぐ強い地震が来ます」等)の表示)となります。高度利用者向けガイダンスもしくはカウントダウンガイダンスを選択している場合は、予測震度を表示し、猶予時間をカウントダウンする表示となります。

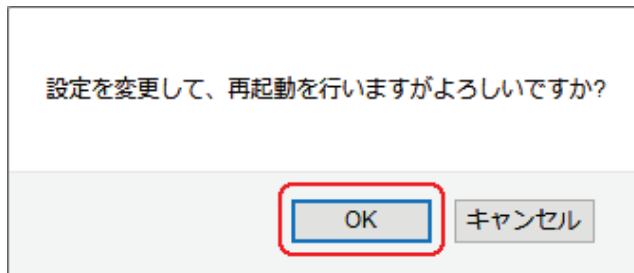
○音声ガイダンスと表示モードを独立して設定する

音声ガイダンスの設定とは関係なく、表示モードを設定できます。

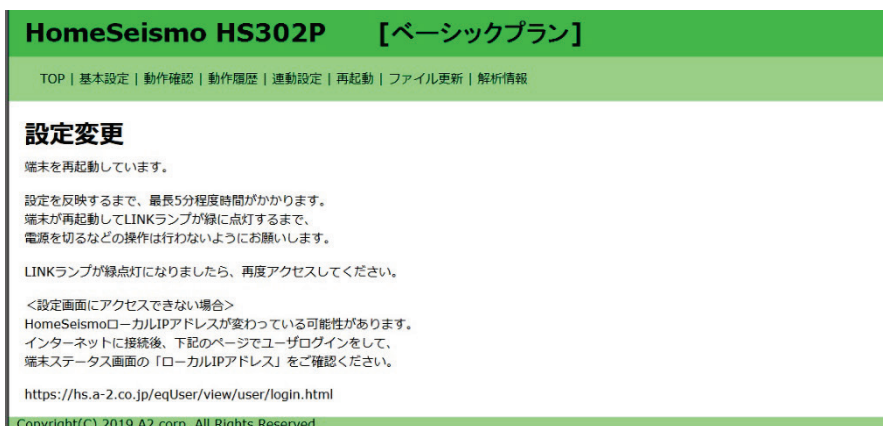
館内放送でも放送される音声ガイダンスは一般向けガイダンスで、関係者室に置かれている LED 表示器は震度と猶予時間を表示させる、というような使い方が可能です。

4. 設定したい項目を設定したら、「登録」ボタンをクリックします。

5. 設定変更の確認ダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。



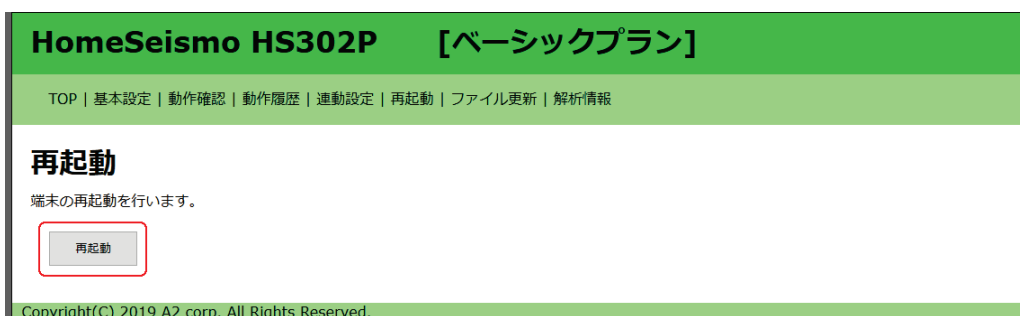
6. 設定変更中の画面が表示されます。
端末が再起動を行いますので、起動するまで電源を切るなどの操作は行わないようにお願いします。
引き続き端末設定画面をご利用の場合は、利用するメニューの項目をクリックしてください。



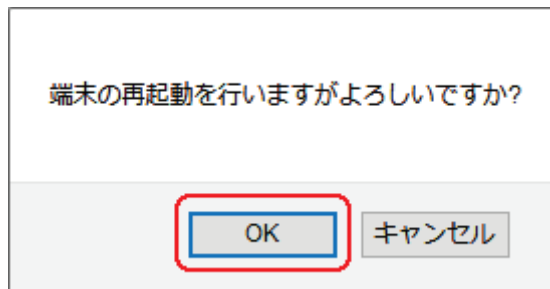
4.2.6 再起動

端末の再起動が行えます。

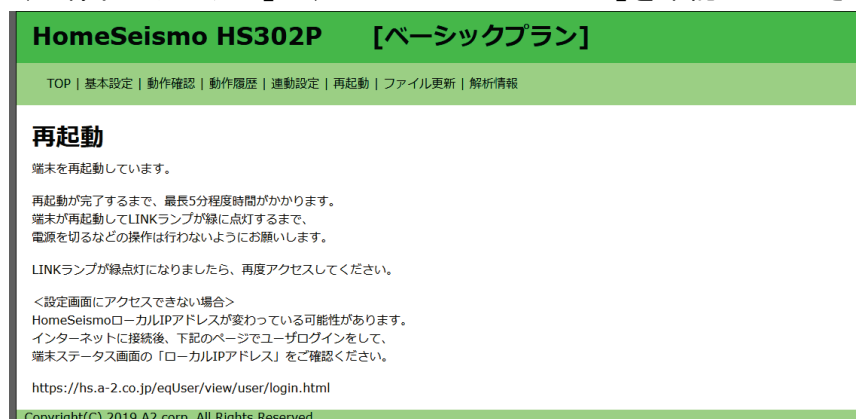
1. TOP ページの「再起動」をクリックしてください。
再起動画面が表示されます。
2. 「再起動」ボタンをクリックします。



- 再起動の確認ダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。



- 再起動中の画面が表示されます。
端末が再起動して LINK ランプが緑に点灯するまで、電源を切るなどの操作は行わないようにお願いします。
引き続き端末設定画面をご利用の場合は、利用するメニューの項目をクリックしてください。
端末設定画面にアクセスできない場合は、端末の IP アドレスが変わっている可能性がありますので、再度 <https://hs.a-2.co.jp/> のサイトの左メニューより「ログイン」をクリックしてユーザログインページにアクセスし、「端末ステータス」で、「ローカル IP アドレス」を確認してください。



4.2.7 ファイル更新

別途契約を結んだ方だけのページとなります。

4.2.8 解析情報

別途端末の保守契約を結んだ方だけのページとなります。

付 録

- 付録 1 HS302P 接点仕様
- 付録 2 HS302P 製品仕様
- 付録 3 HS302P 工場出荷時設定内容
- 付録 4 端末設定メモ

付録 1 HS302P 接点仕様

◆「C. OUT」コネクタの仕様

端子名	C.OUT (1~3)
出力端子	ネジ式端子台 (端子ネジM3)
出力方式	C.OUT1、C.OUT2、C.OUT3:PhotoMOSリレー a接点出力 (本機電源断の際は開放) ※ PhotoMOSリレーはパナソニック電気株式会社の登録商標です。
備考	C.OUT1、C.OUT2、C.OUT3:最大定格 DC45V 800mA(AC30V 550mA rms) ※無極性・交流の場合、周波数は 100Hz未満に限る。

◆「DC5V出力(常時)」コネクタの仕様

端子名	DC5V
出力端子	ネジ式端子台 (端子ネジM3)
備考	「OUT」表示側の端子の電圧が「GND」表示側の端子に対して、+5Vです。 本端子の最大出力電流は 100mAで、自己復帰型ヒューズで保護しています。 本機内部の回路系の一部の電源と共通なので、本端子への接続機器の特性によっては、本機の動作に影響を与える場合がありますのでご留意ください。 ※本端子に、外部から電圧を印加しないでください。故障の原因になります。

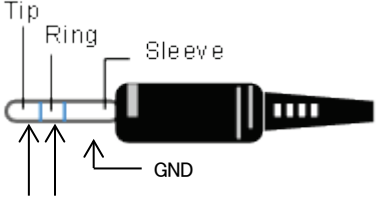
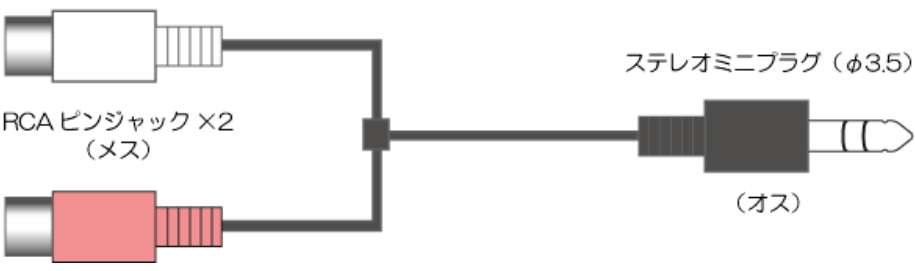
◆「DC12V出力(制御可)」コネクタの仕様

端子名	RLY
出力端子	ネジ式端子台 (端子ネジM3)
備考	「+12」表示側の端子の電圧が「GND」表示側の端子に対して、+12Vです。 本端子の最大出力電流は 500mAで、自己復帰型ヒューズで保護しています。 本機内部の回路系の一部の電源と共通なので、本端子への接続機器の特性によっては、本機の動作に影響を与える場合がありますのでご留意ください。 ※本端子に、外部から電圧を印加しないでください。故障の原因になります。電源遮断用接点出力(シングルステイブル型のリレー)を採用しています。


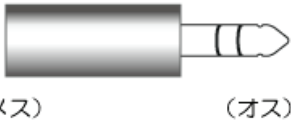
◆「外部スピーカー」コネクタの仕様

端子名	SPK
出力端子	ネジ式端子台 (端子ネジM3)
出力方式	BTL型、平衡出力 (音声出力:最大 1.2W) 出力インピーダンス:8Ω
備考	SPKの両端子共C.OUTを除くいかなる本機他の部分と接続しないでください。 最大音量は、VOLつまみの設定にて変化します。 (音量調整に関して:左回しで小・右回しで大) 接続する機器の入力インピーダンスは8Ω以上の物を採用してください。

◆「LINE OUT」コネクタの仕様

端子名	LINE
出力端子	φ3.5mmミニピンジャック (3 極) 2 極の物や、φ2.5mmのミニプラグは接続できません。
最大出力レベル	600Ω 負荷に接続して 0dBm相当 ※負荷のインピーダンスに依り変化します。
出力方式	LINE出力、非平衡 (片側接地・・・アース・GND)
接続相手機器の入力インピーダンス	600Ω 以上 (推奨)
端子部アサイン	 <p>TipとRingにモノラル (モノラル同一信号) の音声 パソコン用の電源付スピーカーユニットを繋いだ場合、左右同一 (同相) の出力です。</p>
備考	本端子には、外部から電圧を印加しないでください。 本端子の最大出力レベルは、VOLつまみの設定によって変化しません。
オーディオコネクタの変換について	<p>用意いただいたケーブルがステレオミニプラグ (φ3.5mm) でない場合、市販の変換ケーブル・変換アダプター等をご利用ください。</p> <p style="text-align: center;"><接続例></p> <ul style="list-style-type: none"> ● RCA ピンプラグケーブルを用意された場合 (変換ケーブル使用) <p>用意したピンプラグ (オス) ケーブルを接続</p> <p style="text-align: right;">HomeSeismo の LINE へ接続</p>  <p>RCA ピンジャック ×2 (メス)</p> <p style="text-align: right;">ステレオミニプラグ (φ3.5) (オス)</p>

◆「LINE OUT」コネクタの仕様

<p>オーディオコネクタの変換について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● モノラル標準プラグ(2 極、φ 6.5mm)ケーブルを用意された場合(変換アダプター使用) <p>用意した標準プラグ(オス)ケーブルを接続</p> <p>標準ジャック ×2</p> <p>HomeSeismo のLINE へ接続</p> <p>ステレオミニプラグ(φ 3.5)</p> <p>(オス)</p> <p>(メス)</p> 
	<ul style="list-style-type: none"> ● ステレオ標準プラグ(3 極、φ 6.5mm)ケーブル、モノラルミニプラグ(2 極、φ 3.5mm)ケーブルを用意された場合(変換アダプター使用) <p>ステレオミニプラグ(φ 3.5) への変換アダプター</p> <p>用意したステレオ標準プラグ / モノラルミニプラグ(オス)</p> <p>ケーブルを接続</p> <p>HomeSeismo のLINE へ接続</p> <p>(メス) (オス)</p> 

付録2 HS302P 製品仕様

収容回線数	1 回線 (緊急地震速報受信用)
接続可能機器	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーカ ・音響機器(アンプ、ミキサー等) ・接点制御機器 ・接点被制御機器(回転ライト等) ・被制御機器のインターフェース用電源等
インターフェース	<ul style="list-style-type: none"> ・接点出力(C.OUT)×3 ・電源出力DC5V 常時(DC5V) ・電源出力DC12V 制御可(RLY)×1 ・スピーカ出力(SPK)×1 ・LINE音声出力(LINE)×1 ・スイッチ(SW)×1
LANインターフェース	RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX (自動MDI/MDI-X切替機能あり)
プロトコル	独自プロトコル(IP+UDP)
電源	AC100V(50/60Hz)
外形寸法	236(W)×198(D)×33(H) mm (突起物含まず)
本体重量	1.04kg
動作保証範囲	使用温度範囲:0°C~40°C 動作保証湿度(相対湿度):20%~80% (ただし、結露なきこと)

付録3 工場出荷時設定内容

ネットワーク設定	
ネットワーク設定	IPアドレスを自動的に取得する(DHCP)
音声発報・接点出力動作停止時間帯	
音声発報・接点出力動作停止時間帯	停止しない
発報条件	
緊急地震速報(警報/予報)発報条件	緊急地震速報(警報)もしくは 緊急地震速報(予報)で音声発報・接点出力動作を行う
音声ガイダンス 緊急地震速報(予報)予測震度	予測震度 3.5 以上で発報
緊急地震速報(予報:震源由来) 気象庁発表の確からしさ	気象庁からの緊急地震速報(予報:震源由来)に含まれる確からしさが低い場合は、音声発報・接点出力動作を行わない
緊急地震速報(予報:震源由来) 予測する震源の深さ	気象庁からの緊急地震速報(予報:震源由来)に含まれる震源の深さが 150kmより深い場合は、音声発報・接点出力動作を行わない
音声ガイダンス P波検知	無効
緊急地震速報音声ガイダンス	
緊急地震速報音声ガイダンス	高度利用者向けガイダンス
緊急地震速報(予報)チャイム音	予測震度 5 弱以上 NHKチャイム音 + 予測震度 4 以下 REICチャイム音
ラインアウト音量レベル	
ラインアウト音量レベル	0dB
放送開始遅延時間	
放送開始遅延時間(ミリ秒)	0 ミリ秒
接点出力	
C.OUT1(a接点)	放送連動
C.OUT2(a接点)	放送連動
C.OUT3(a接点)	放送連動
12V出力	
RLY 12V出力(a接点)	放送連動
キャンセル報受信時の動作	
「ガイダンス発報終了後」のキャンセル通知	最後に発報した緊急地震速報に対して後からキャンセル報を受信した場合に、音声・接点出力(放送連動のみ)動作を行わない
【LED表示器】表示モード設定	
表示モード	放送連動

付録 4 端末設定メモ

端末情報	
SN	
パスワード(半角英数字 8 文字)	
ユーザログインサイト情報 https://hs.a-2.co.jp/	
ユーザ名	
パスワード	
ネットワーク設定	
DHCP	
IPアドレス	
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
HomeSeismoローカルポート番号	
IPv6 アドレス	
使用するFlet's網	
音声発報・接点出力動作停止時間帯	
音声発報・接点出力動作停止時間帯	
発報条件	
緊急地震速報(警報/予報)発報条件	
音声ガイダンス 緊急地震速報(予報)予測震度	以上で音声発報
緊急地震速報(予報:震源由来) 気象庁発表の確からしさ	<input type="checkbox"/> 気象庁からの緊急地震速報(予報:震源由来)に含まれる確からしさが低い場合でも、音声発報・接点出力動作を行う
緊急地震速報(予報:震源由来) 予測する震源の深さ	<input type="checkbox"/> 気象庁からの緊急地震速報(予報:震源由来)に含まれる震源の深さが 150kmより深い場合でも、音声発報・接点出力動作を行う
音声ガイダンス P波検知	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 単独P波検知無効(複数P波検知のみ) 震度 以上相当で音声発報
緊急地震速報音声ガイダンス	
一般向けガイダンス	
高度利用者向けガイダンス	
カウントダウンガイダンス	

予測震度 5 弱以上 NHKチャイム音 + 予測震度 4 以下 REICチャイム音	
NHKチャイム音	
REICチャイム音	
ラインアウト音量レベル	
ラインアウト音量レベル	
放送開始遅延時間	
放送開始遅延時間(ミリ秒)	ミリ秒
接点出力	
C.OUT1(a接点)	<input type="checkbox"/> 放送連動 <input type="checkbox"/> ワンショット 出力時間 ミリ秒 緊急地震速報予測震度 以上で動作 P波検知 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 単独P波検知無効(複数P波検知のみ) 震度 以上相当で動作 <input type="checkbox"/> 試験放送で動作する
	<input type="checkbox"/> 放送連動 <input type="checkbox"/> ワンショット 出力時間 ミリ秒 緊急地震速報予測震度 以上で動作 P波検知 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 単独P波検知無効(複数P波検知のみ) 震度 以上相当で動作 <input type="checkbox"/> 試験放送で動作する
C.OUT2(a接点)	<input type="checkbox"/> 放送連動 <input type="checkbox"/> ワンショット 出力時間 ミリ秒 緊急地震速報予測震度 以上で動作 P波検知 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 単独P波検知無効(複数P波検知のみ) 震度 以上相当で動作 <input type="checkbox"/> 試験放送で動作する
	<input type="checkbox"/> 放送連動 <input type="checkbox"/> ワンショット 出力時間 ミリ秒 緊急地震速報予測震度 以上で動作 P波検知 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 単独P波検知無効(複数P波検知のみ) 震度 以上相当で動作 <input type="checkbox"/> 試験放送で動作する
C.OUT3(a接点)	<input type="checkbox"/> 放送連動 <input type="checkbox"/> ワンショット 出力時間 ミリ秒 緊急地震速報予測震度 以上で動作 P波検知 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 単独P波検知無効(複数P波検知のみ) 震度 以上相当で動作 <input type="checkbox"/> 試験放送で動作する
	<input type="checkbox"/> 放送連動 <input type="checkbox"/> ワンショット 出力時間 ミリ秒 緊急地震速報予測震度 以上で動作 P波検知 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 単独P波検知無効(複数P波検知のみ) 震度 以上相当で動作 <input type="checkbox"/> 試験放送で動作する
12V出力	
RLY 12V出力(a接点)	<input type="checkbox"/> 放送連動 <input type="checkbox"/> ワンショット 出力時間 ミリ秒 緊急地震速報予測震度 以上で動作 P波検知 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 単独P波検知無効(複数P波検知のみ) 震度 以上相当で動作 <input type="checkbox"/> 試験放送で動作する
	<input type="checkbox"/> 放送連動 <input type="checkbox"/> ワンショット 出力時間 ミリ秒 緊急地震速報予測震度 以上で動作 P波検知 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 単独P波検知無効(複数P波検知のみ) 震度 以上相当で動作 <input type="checkbox"/> 試験放送で動作する

キャンセル報受信時の動作	
「ガイダンス発報終了後」のキャンセル通知	<input type="checkbox"/> 最後に発報した緊急地震速報に対して後からキャンセル報を受信した場合に、音声・接点出力(放送連動のみ)動作を行う
HS連動IPv4 ローカルアドレス設定 ※ネットワーク設定(基本設定ページで設定)を「IPv6」に設定している場合のみ	
IPv4 アドレス	
サブネットマスク	
HS連動エイツー社製品登録	
No.1	端末名: IPアドレス: ポート番号:
No.2	端末名: IPアドレス: ポート番号:
No.3	端末名: IPアドレス: ポート番号:
No.4	端末名: IPアドレス: ポート番号:
No.5	端末名: IPアドレス: ポート番号:
No.6	端末名: IPアドレス: ポート番号:
No.7	端末名: IPアドレス: ポート番号:
No.8	端末名: IPアドレス: ポート番号:
【LED表示器】表示モード設定	
表示モード	<input type="checkbox"/> 放送連動
	<input type="checkbox"/> 音声ガイダンスと表示モードを独立して設定する <input type="checkbox"/> 一般向け表示 <input type="checkbox"/> 予測震度・猶予時間カウントダウン表示
備考	

保証書

この製品は、厳密な検査に合格したものです。
お客様の正常な使用状態で万が一故障した場合のみ、保証規定に基づいて無償修理いたします。

- 使用時の注意事項につきましては取扱説明書をご覧ください。
- 故障と思われる現象が生じた場合、まず取扱説明書を参照し、設定や接続が正しく行われているかご確認ください。
- 修理する製品を発送する際、必ず保証書をそえてご依頼下さい。本保証書は、製品名、お引渡し日及び販売店名が記載されているレシートや納品書等で代用することができます。
- 保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

保証規定

- 保証期間内に正常なる使用状態において、万が一故障した場合には無償で修理いたします。
- 修理は送付バック方式です。修理依頼時の送料、機器の取り付け取り外しを業者に依頼した場合の費用はお客様負担にてお願いします。尚、運送中の故障や事故に関して、株式会社エイツーはいかなる責任も負いかねます。
- ネットワーク経由でのバージョンアップが正常に行われなかった場合、保証期間内外問わず無償修理となります（修理費のみ）
- 本製品を使用した結果発生した情報の消失等の損害について、株式会社エイツーは一切責任を負わないものとします。
- お客様または第三者が被った下記のすべての損害について、株式会社エイツー及び販売店は、一切その責任を負いませんので、予めご承知おきください。
 - 本製品の使用・使用誤りによって生じた、本製品に起因するあらゆる故障・誤動作、事故・人身・経済損害等
 - 本製品の使用中に停電等の外部要因によって生じた、事故・人身・経済損害等
- 本保証規定に基づく株式会社エイツーの責任は、製品についてお客様が実際に支払った金額を上限とします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 1. 取扱い上の誤りによる故障及び損傷
 2. お客様にて改造・修理をされている場合
 3. お買い上げ後の輸送、移動、落下、そのほかの衝撃による故障及び損傷
 4. 間違って接続した場合（電源電圧が違うアダプタを挿した場合等）の故障及び損傷
 5. 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他の天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷
 6. 戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合による故障及び損傷
 7. 日本国外で発生した損害
 8. お引渡し日及び販売店名の記載がある保証書のご提示がない場合
 9. 株式会社エイツーもしくは販売店の都合以外の理由により、保証書に記載の字句を利用者もしくは第三者が改めた場合
- 本保証規定は、日本国内でお買い求めいただき、日本国内でご使用いただいている場合のみにて有効なものとなります（This warranty is valid only in Japan.）
- 本内容については、お客様の権利を不利益に変更するものではありません。

製品名	HomeSeismo HS302P
保証期間	お引渡し日 年 月 日より1年間

販売店記入欄	販売店名	
	販売店住所	
	TEL ()	

株式会社エイツー
〒142-0041
東京都品川区戸越 1-7-1 7F
URL : <https://www.a-2.co.jp>

弊社製品の情報は以下の方法で入手できます。

株式会社エイツー

〒142-0041 東京都品川区戸越 1-7-1 7F

URL : <https://www.a-2.co.jp/homeseismo/>

E-mail : homeseismo@a-2.co.jp

TEL : 03-5498-7411(代)

受付時間 : 9:30~12:00 13:00~17:00 <土日、年末年始、祝日を除く>

気象庁地震動予報業務 許可番号 : 許可第 98 号 / 変更認可第 98-1 号

- ・地震動(震源由来震度)
- ・地震動(波面伝播非減衰震度)

<お問い合わせ先>

ご購入いただいた代理店または販売店へお問い合わせください。

●保証について

- ・故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、接続や設定が正しく行われているかを確認してください。
- ・保証書に記載されている内容を、よくお読みください。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。物理的な破損が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。

●必要事項

- ・製品名 (Model) とシリアル番号 (SN) (端末本体下部カバー内の黄色いシールに表記)
- ・LINK・MONI LED (ランプ) の状態
- ・お名前、フリガナ
- ・連絡先電話番号、FAX番号、メールアドレス
- ・購入店
- ・購入日付
- ・設定内容 (基本設定等)
- ・現象 (どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのか)
- ・構成について (ネットワークとの接続状況や使用されているネットワーク機器等)